

1. 件名：「浜岡原子力発電所3号機及び4号機の地震等に係る新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング(122)、(155)」

2. 日時：令和4年6月29日（水）10時00分～12時15分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者（※：TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：名倉安全規制調整官、海田主任安全審査官、佐口主任安全審査官、谷主任安全審査官、鈴木安全審査専門職、西来主任技術研究調査官、馬場係員、松末技術参与、杉野統括技術研究調査官、道口主任技術研究調査官、山下技術研究調査官

中部電力株式会社：原子力本部 原子力土建部 執行役員

中川原子力土建部長 他11名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

- ・浜岡原子力発電所 基準津波の策定のうちプレート間地震の津波評価について（コメント回答）
- ・浜岡原子力発電所 基準津波の策定のうちプレート間地震の津波評価について（補足説明資料）
- ・浜岡原子力発電所 基準津波の策定のうち歴史記録及び津波堆積物に関する調査について
- ・浜岡原子力発電所 基準津波の策定のうち歴史記録及び津波堆積物に関する調査について（補足説明資料）
- ・浜岡原子力発電所 新規制基準適合性審査 指摘事項リスト
- ・浜岡原子力発電所 基準津波の策定のうちプレート間地震の津波評価について（コメント回答）データ集

| 時間 | 自動文字起こし結果 |
|---------|---|
| 0:00:01 | はい。それでは時間になりましたので、浜岡の基準津波の策定プレート間地震の津波評価このコメント回答、このヒアリングを、 |
| 0:00:11 | 行いたいと思います。ちょっと資料の方は本体と補足資料があって前回4月ですかね、一応ヒアリングやっていますので、まずその、高良からの修正差分になるかと思えますけれども、 |
| 0:00:24 | 中部電力さんの方から説明お願いいたします。 |
| 0:00:30 | 中部電力天野でございます。前回4月20日に実施させていただきました、プレート間地震の津波評価につきまして、ヒアリングの中でご確認いただいたところでわかりにくかったところ等を、 |
| 0:00:43 | 修正して参りましたので修正点を中心にご説明をさせていただきたいと思えます。説明時間およそ20分程度になりますのでよろしくお願いいたします。 |
| 0:00:55 | 中電力の天津でございます。浜岡原子力発電所基準津波の策定のうち、プレート間地震の津波評価についてのコメント回答について、前回ヒアリングからの変更点をご説明します。 |
| 0:01:07 | 9ページお願いします。 |
| 0:01:12 | はい。9ページですけども前回会合でのコメント一覧表です。前回ヒアリングでは、一番下のNo.6と、堆積当時の地形を想定した津波シミュレーションについて、 |
| 0:01:23 | 今回資料では、一番左の項目欄を開けて、歴史記録及び津波堆積物に関する調査にコメントへ調査に対するコメントであることを表示いたしました。 |
| 0:01:34 | 続いて、12ページから15ページまでですけども、今回のコメント回答に伴う変更概要となっています。特に、13から15ページについては、前回各省の中で、それぞれお示ししていたまとめページを、 |
| 0:01:50 | 今回は、資料の冒頭に持ってきて、変更概要として確認していただける作りとしました。 |
| 0:01:56 | 13ページをお願いします。 |
| 0:01:59 | こちらは前回資料の中ほどにありましたパラメータスタディの変更概要です。 |
| 0:02:05 | 左側に前回会合の津波評価概要、 |
| 0:02:08 | 右側に今回の津波評価概要をそれぞれフローで示して、 |
| 0:02:13 | 2段目の検討波源モデルのパラメータスタディのうち、概略パラメータスタディについて、左側の前回までは、 |

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 0:02:21 | 破壊伝播を考慮して検討し、敷地への影響が最も大きいケースを基準断層モデルとして選定していましたが、 |
| 0:02:29 | 今回は右側赤字で示す通り、破壊開始点の位置が影響しないよう、同時破壊として検討することに変更しまして、 |
| 0:02:38 | 基準断層モデルを選定するとともに、 |
| 0:02:41 | 敷地への影響が最も大きいケースのほか、 |
| 0:02:44 | 影響が同程度のケースも、基準断層モデルとして選定することとしました。 |
| 0:02:49 | またその下の詳細パラメータスタディ等について、左の、前回までは、ライズタイム 120 から 300 秒を、詳細パラメータスタディにおいて、ライズタイム 60 秒を、 |
| 0:03:00 | さらなる不確かさの考慮においてとステップを踏んで検討していましたが、今回の説明では、詳細パラメータスタディにおいて検討するとともに、ライズタイム 60 から 120 秒の間のパラメータスタディを網羅的に実施することとし、 |
| 0:03:15 | 大体 90 秒の検討を追加しております。 |
| 0:03:19 | 14 ページは、No. 3 コメント回答に伴う津波評価結果の変更を示しています。 |
| 0:03:25 | 左が前回介護、右が今回説明して、両者の津波評価結果の傾向に大きな違いはありませんが、 |
| 0:03:33 | 敷地前面については、前回の 2、22.5 メートルから 22.7 メートルになりました。 |
| 0:03:40 | また水位低下時間は、前回 13.2 分から 13.5 分になっています。 |
| 0:03:46 | 取水槽の最大上訴上昇水は変更ございません。 |
| 0:03:51 | 15 ページは、内閣府の最大クラスモデルとの比較分析です。 |
| 0:03:56 | 左の内閣府最大クラスモデルと、右の検討波源モデル A の最大ケースを比較すると、 |
| 0:04:02 | 偶然的な不確かさである。 |
| 0:04:04 | 破壊開始点のほか、 |
| 0:04:06 | 敦賀湾内に、町を滑り域の滑り量を設定していること。 |
| 0:04:10 | 町を滑り域を滑り域を移動させていることにより、敷地への影響の観点から、より幅広く不確かさを考慮したモデルとなっていることを確認しております。 |
| 0:04:21 | 17 ページからは、 |

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 0:04:23 | プレート間地震の津波評価全体の中に、ナンバー1 から 4 のコメント回答を含んだ資料となっています。 |
| 0:04:31 | 前回ヒアリングからの説明内容の変更はございませんので、それぞれの内容の説明は省略いたしますが、 |
| 0:04:38 | 一章は、検討対象領域の選定、 |
| 0:04:40 | 二章は、痕跡再現モデルの検討となっています。 |
| 0:04:44 | 35 ページをお願いします。 |
| 0:04:50 | こちらは、遠州灘沿岸域の痕跡再現モデルの検討方針のページですが、 |
| 0:04:56 | 右下の遠州灘沿岸域の歴史記録と、津波堆積物から推定される津波高を示すグラフについては、 |
| 0:05:04 | 先日の津波堆積物の審査会合での内容を踏まえ、 |
| 0:05:08 | 敷地の津波堆積物の緑のプロットは、前回冷やで 4 から 6 メートルとしていたものを、 |
| 0:05:15 | 前回会合までと同じ 8 から 10 メートルに戻してございます。 |
| 0:05:20 | また歴史記録の判例については、津波堆積物の表記とあわせて、 |
| 0:05:25 | 歴史記録から推定される津波高と名称を変更しました。 |
| 0:05:29 | このグラフについては資料中の他のページにもございますので、それらについても同様に修正しております。 |
| 0:05:36 | 47 ページをお願いします。 |
| 0:05:41 | こちらは、遠州灘沿岸域の痕跡再現モデルの滑り量分布設定の妥当性確認として、プレートの沈み込み速度を考慮しないモデルとの比較結果を示したものです。 |
| 0:05:53 | ここでは、箱書きで再現性に関する当社の考え方がわかるように記載しました。 |
| 0:05:59 | 箱書きですが、 |
| 0:06:01 | 遠州灘沿岸域における津波痕跡の再現性指標 k_{κ} を確認した結果、 |
| 0:06:07 | 形は、応力降下量の増減に対応じて現像するが、カップパーは、 |
| 0:06:12 | プレートの沈み込み速度を考慮したモデルの方が小さく、津波痕跡の再現性が高いことを確認しました。 |
| 0:06:20 | なお、プレートの沈み込み速度を考慮したモデルの中でも、平均応力降下量を 1.7MPa とした、遠州灘沿岸域の痕跡再現モデルは、 |
| 0:06:30 | K の通知が土木学会 2016 による再現性の目安 0.95 から 1.05 の概ね下限値となっており、 |
| 0:06:39 | 遠州灘沿岸域における津波た痕跡を保守的に再現するモデルとなっています。 |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 0:06:44 | 57 ページでは、広域モデルについて、同様に箱書きを修正しております。 |
| 0:06:51 | 続いて 61 ページからは、行政機関による津波評価の確認となっております。 |
| 0:06:57 | 73 ページをお願いします。 |
| 0:07:03 | こちらには、内閣府 2012 の時間差発生モデルと、最大クラスモデルの津波高の比較を示しておりますが、 |
| 0:07:11 | 今回は敷地周辺の計算結果がわかるように、図の解像度を上げて欲しいとのご確認をいただいております。今回、可能な範囲ですと半寒冷を大きくし、 |
| 0:07:23 | また図の解像度を上げて貼り直しております。 |
| 0:07:26 | また次の 74 ページには、時間差発生モデルの津波高を整理したページを追加しております。 |
| 0:07:33 | 内閣府の時間差発生モデルによる敷地周辺の津波高は、いずれのモデルでも、赤色の概ね 5 から 10 メートルとなっております。 |
| 0:07:43 | 83 ページからは、章が変わりまして、 |
| 0:07:46 | 検討波源モデルの津波評価のうち、検討波源モデルの設定です。 |
| 0:07:51 | 136 ページをお願いします。 |
| 0:08:01 | こちらは、検討あげモデルの設定に関する日本海溝の手法を用いたモデルによる妥当性確認のうち、地殻変動量分布の比較を示したページです。 |
| 0:08:11 | 今回、敷地と滑り域位置との関係等も踏まえた上で、どのように検討したのかという観点で、箱書きを修正しています。 |
| 0:08:20 | 1 ポツ目ですが、検討波源モデルと、日本海溝の津波評価も手法モデルの地殻変動量分布について、敷地への影響の観点から、町を滑り域が敷地前面にある条件で比較しました。 |
| 0:08:34 | その結果、ホームページには、地殻変動量を平面図で、 |
| 0:08:39 | 次の 137 ページには断面図で比較しておりますが、 |
| 0:08:44 | 2 ポツ目、検討波源モデルと、日本海溝の津波評価手法モデルの地殻変動量は、右側のグラフの通り、 |
| 0:08:52 | 全体的には概ね同程度ですが、一番上の敷地を通る 1'断面においては、 |
| 0:08:59 | 町を滑り域の滑り量が大きい検討波源モデル A、D の地殻変動量は、 |
| 0:09:06 | 日本海溝の津波評価手法モデルと概ね同程度か、やや大きくなっているということを確認しました。 |
| 0:09:13 | 以上より、下の箱書き。 |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 0:09:15 | 敷地への影響の観点から、敷地前面の沖合において、 |
| 0:09:19 | 検討波源モデルの滑り量分布及び地殻変動量分布を、日本解剖手法を用いたモデルと同程度以上となっていることを確認し、 |
| 0:09:30 | 検討波源モデルの滑り量分布の設定方法等モデル設定の妥当性を確認いたしました。 |
| 0:09:36 | 続いて 139 ページからは、検討波源モデルのパラメータスタディです。 |
| 0:09:41 | 142 ページをお願いします。 |
| 0:09:46 | こちらは、検討波源モデルのパラメータスタディに関する変更点ですが、今回は右下の黄色の箱書きのような形で、詳細パラメータスタディにおいて、破壊伝播を考慮して検討していることがわかるように記載してございます。 |
| 0:10:01 | 続く 143 ページには、 |
| 0:10:04 | 概略詳細パラメータスタディ結果の分析を示しています。 |
| 0:10:08 | 左のグラフは、概略パラメータスタディ結果を薄い赤、 |
| 0:10:13 | 詳細パラメータスタディ結果を、濃い赤で、滑り域の位置ごとに並べたものです。 |
| 0:10:19 | 滑り域位置による水位の違いはほとんどないので、拡大したものを右側に示しています。 |
| 0:10:26 | 拡大版の方は、上が概略パラメータスタディ結果。 |
| 0:10:30 | 下が詳細パラメータスタディ結果です。 |
| 0:10:33 | 今回資料では、東へ 40 キロメートルのケースについて、当該ケースが波源モデルの東の端に達したケースであることを注記しました。 |
| 0:10:42 | 同様の注記は資料中の必要、必要な箇所に施しております。 |
| 0:10:48 | 箱書きですが、破壊開始点の位置が影響しないよう、同時破壊として検討した概略パラメータスタディによる津波評価結果と、 |
| 0:10:56 | 破壊伝播を考慮した詳細パラメータスタディによる津波評価結果を比較した結果は、 |
| 0:11:02 | 以下の通りで、 |
| 0:11:03 | 概略パラメータスタディにおいて、敷地への影響が最も大きいケース及びそれと同等程度のケースを、 |
| 0:11:11 | 基準断層モデルとして選定した上で、 |
| 0:11:14 | 詳細パラメータスタディを実施する方法は、 |
| 0:11:17 | 概略パラメータスタディから詳細パラメータスタディへの水の増加が、いずれの滑り域の位置においても、概ね同程度となっていることから、 |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| | 敷地への影響が大きい滑り域の位置を選定できていることを確認しました。 |
| 0:11:32 | 200 ページからは内閣府の最大クラスモデルとの比較分析、209 ページからはまとめとなっています。 |
| 0:11:40 | 214 ページをお願いします。 |
| 0:11:48 | 今回先ほどご説明した内閣府の最大クラスモデルとの比較分析のページを、まとめの方にも追加させていただきます。 |
| 0:11:57 | 216 ページからはNo. 5 コメント回答。 |
| 0:12:01 | 敦賀トラフのプレート形状に関する知見についてで、今回、218 から221 ページの地震動資料との共通部分に関しては、 |
| 0:12:11 | 地震動審査会合の資料の再掲であることを、右上に表示しました。 |
| 0:12:16 | 222 ページは、 |
| 0:12:18 | 松原 T a l l 2021 と内閣府 2012 のプレート境界の断面比較を示していますが、 |
| 0:12:24 | 前回資料から、津波の到来方向やプレートの傾斜角に関する記載を追加しております。 |
| 0:12:31 | 箱書きですが、内閣府の最大クラスの津波断層モデルと松原のプレート境界について、 |
| 0:12:38 | 敷地への影響の観点から、敷地への津波の到来方向を踏まえて、内閣南海トラフの津波断層モデルの陸置き方向の断面で比較しました。 |
| 0:12:48 | その結果、断面図に青色で示す敷地周辺の海域部分について、黒線の内閣府の最大クラスのモデル、モデルの |
| 0:12:58 | 津波断層モデルと、ピンクの松原は、その今日プレート境界の深さ及び傾斜角が概ね整合していることを確認しました。 |
| 0:13:10 | なお、概ね敷地を通る小断層の断面、 |
| 0:13:14 | 2-2'の海域部分では、 |
| 0:13:16 | 松原のプレート境界はほとんど推定されていないことを確認しました。 |
| 0:13:22 | 次の 223 ページからは、No.6 コメント回答堆積当時の地形を想定した津波シミュレーションに関してです。 |
| 0:13:31 | こちらは先ほどご説明したのと同様、 |
| 0:13:34 | 津波堆積物の審査会合を踏まえて、津波堆積物の標高に関する記載を、以前のものに戻しています。 |
| 0:13:42 | また、コメント回答概要と、結論の記載を充実化しました。 |
| 0:13:47 | 224 ページは、検討概要です。 |

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 0:13:51 | コメント回答の概要ですが、当時の正確な地形を推定することは困難ではあるものの、 |
| 0:13:57 | 発電所開発前の地形とボーリング調査データから、堆積当時の地形を想定して実施した津波の数値シミュレーションの結果、 |
| 0:14:06 | 谷地形によって津波高が増幅して遡上することを示し、 |
| 0:14:10 | 谷地形のやや高い標高に津波堆積物があったとしても、既往津波と同程度の津波で説明できることを解析的に確認しました。 |
| 0:14:20 | 検討の内容は、前回ヒアリングと変わってございません。 |
| 0:14:24 | 227 ページ、228 ページは、前回審査会合でもお示ししていました、土木学会 2016 の評価方法に基づく津波増幅効果の検討で、 |
| 0:14:36 | 229 ページから、今回検討した数値シミュレーションに基づく津波増幅効果の検討を示しています。 |
| 0:14:44 | 231 ページですが、堆積当時の地形を想定した津波の数値シミュレーションの結果、 |
| 0:14:52 | 図に示したように、津波の最大上昇水位分布及び時刻歴は計により、 |
| 0:14:59 | 谷地形によって津波高が増幅することを確認しました。 |
| 0:15:03 | また、谷地形における最大津波水位は、谷地形による反射は等の影響の小さい地点、①②の津波水位に対して 2 倍程度となっています。 |
| 0:15:16 | これらのことから、下の箱書きですが、 |
| 0:15:19 | 土木学会 2016 に基づき、谷地形による津波増幅効果を、 |
| 0:15:23 | 検討した結果、 |
| 0:15:25 | 敷地東側の谷地形によって、津波高は 2 倍程度まで増幅することを確認しました。 |
| 0:15:31 | また、当時の正確な地形を推定することは困難ではあるものの、 |
| 0:15:36 | 発電所開発前の地形とボーリング調査データから、堆積当時の地形を想定して実施した津波の数値シミュレーションの結果、 |
| 0:15:44 | タニ地形のやや高い標高に津波堆積物があったとしても、 |
| 0:15:49 | 既往津波と同程度の津波で説明できることを解析的に確認しました。 |
| 0:15:54 | 232 ページには、本検討の参考として、歴史記録及び津波堆積物から推定される遠州灘沿岸域の津波高と、 |
| 0:16:04 | 津波評価結果との比較ページを追加しました。 |
| 0:16:09 | 続いて、補足説明資料の方、38 ページをお願いします。 |
| 0:16:23 | はい。 |
| 0:16:24 | ええ。 |

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 0:16:25 | こちらですけれども前回ヒアでもご説明した通り、水位低下時間の算出方法について、一時的な水位上昇時間のうち、ガイカイ水位が、取水塔呑口下端レベル+1メートルを上回る時間が2分未満の場合には、 |
| 0:16:42 | 水位低下時間を合算して算出することとしました。 |
| 0:16:46 | また、この算出方法の変更がパラメータスタディに影響を与えないことをお示ししました。 |
| 0:16:53 | 今回さらに妥当性確認として、39ページの通り、外界水位が取水口下端レベル+0.5メートルの場合、 |
| 0:17:03 | プラス2メートルの場合の管路解析による取水槽内水の時間変化に関する検討を実施し、その結果に基づき、 |
| 0:17:12 | 海水が取水塔呑口下端レベル+5メートルを上回る時間が三分未満の場合、 |
| 0:17:18 | ガイカイ水が取水塔呑口下端レベル+2メートルを上回る時間が1.5分未満の場合に、その前後の水位低下時間を合算して算出する方法でも検討し、 |
| 0:17:30 | パラメータスタディに影響を与えないことを確認することとしました。 |
| 0:17:35 | 40ページから45ページにその追加の検討結果を示しています。 |
| 0:17:40 | 表の左端に①として今回採用、さ、使った合算して算出する方法、その右に、合算せずに算出する方法。 |
| 0:17:51 | さらにその右側2列に合算して算出する方法の水位上昇の閾値を0.5メートル、2メートルにした場合の水位低下時間を示しています。 |
| 0:18:03 | いずれの算出方法においても、取水塔の水位低下時間が最も大きいケースの選定及びその水位低下時間に影響がないことを確認しました。 |
| 0:18:15 | 最後になりますが、538、583ページをお願いします。 |
| 0:18:27 | はい。 |
| 0:18:28 | 日本海溝モデル①の地震モーメントの算出について、微視的波源特性から算出したM0に対して、左下に箱書きを追加しまして、 |
| 0:18:39 | 右下の表に示す各小断層の地震モーメントの総和が 8.4×10^{-22} 条となっていることがわかるように、記載いたしました。 |
| 0:18:49 | 以上で、資料の変更点に関する説明を終わります。 |
| 0:19:02 | はい、ありがとうございます。すいませんちょっと冒頭忘れ、 |
| 0:19:07 | ごあいさつ忘れましたが、私 |
| 0:19:10 | 手を挙げてますけれども、地震津波の6月から耐震の部門の方に来ておりまして、前回はちょっと発言ありませんでしたけれども、私も浜岡の方を担当させていただきますので、よろしく願いいたします。 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 0:19:24 | ちょっと今日は4月からのヒアリングの差分ということで、ちょっとまずその点で、 |
| 0:19:30 | 質問のある方まずでしょうか。 |
| 0:19:40 | 確認をしましょうかと思ったんですけど。 |
| 0:19:49 | 規制庁佐口ですけども、 |
| 0:19:53 | ちょっと前回からの差分というところでまず確認をさしていただきたいんですけど、と言いつつも、 |
| 0:20:01 | 差分だけじゃないところまでいってしまうかもしれませんが、まず、13ページで、 |
| 0:20:11 | 前回と今回の津波評価の間違いというか概要なんですけど、あくまでも同時破壊を最初に検討して、 |
| 0:20:23 | そそれも踏まえた上で、 |
| 0:20:26 | 結局滑り益はこのあたりでいいんじゃないかということを示されてると思うんですけど。 |
| 0:20:32 | 一方で、前回もちょっと確認したかもしれないんですけどこれって、当然水位上昇側だけじゃなくて、実は下降側の方にも聞いていると思うんですけど、 |
| 0:20:45 | この13ページだと、当然下降側も同じことをやっているんですけど、当然こう資料を見ていくと、何かこう、このページだけだと何か、上昇側だけ、 |
| 0:20:56 | 検討されているような、 |
| 0:20:58 | ふうにも見えるので、何か例えば括弧書きとか補足的に何か、 |
| 0:21:04 | 注釈でもいいんですけど、少なくともこれ、 |
| 0:21:07 | 上昇側も下降がもう同じような形でやっているということはわかるようにしていただけますでしょうか。 |
| 0:21:17 | はい。中部電力の盛です。承知いたしました。そのように、加古川もわかる、やっているという言葉があるように、表記させていただきます。 |
| 0:21:27 | はい。伴サグチです。よろしくお願いします。 |
| 0:21:32 | いくつか、 |
| 0:21:34 | ちょっと差分差分ですかね、ちょっと今日ご説明あったところで、これも結局同じ観点なんですけど、 |
| 0:21:41 | 143ページで諸詳細じゃないんですけど、今日、今日もご説明いただいたと思うんですけどこれも、 |
| 0:21:49 | この後も見ていっても実はこういう、何か概略、概要的なことって、加古側はやっぱり一切不触れられていないので、 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 0:22:00 | おんなじような形で、下降側も実は前はこうだったんですけど、今回こういった同時破壊を考慮することによって、こういうふうに、 |
| 0:22:11 | 変わりました的な基礎、そういうのって、 |
| 0:22:14 | ちょっと資料見る限りではなかったのかなと思うんですけど、どっかありましたっけ。 |
| 0:22:23 | はい。中部電力の森です。こちら今佐口さん見ていただいています 143 ページは、変更点。 |
| 0:22:31 | ということで、上昇側について記載させていただいてますけれども、資料の中身として 191 ページと、192 ページ。 |
| 0:22:40 | のところで、 |
| 0:22:46 | 概略パラメータスタディ詳細パラメータサジがすべて終わったところで、上昇が下降側含めて、どういうふうになってるかということの分析を行ってます。こちらでは下降側も含めて記載してましたけれども、 |
| 0:22:58 | 前の方にあります今の 3 ページとか 144 ページなんかの概要のところちょっと上昇側にフォーカス当てて、資料を作っておりますので、下降側も同じような検討をしているということを記載させていただきたいと思います。 |
| 0:23:10 | 以上です。 |
| 0:23:13 | はいはい藤井ですわかりましたなのでその辺りはよろしくお願いします後でちょっともう少し細かいことをお聞きするかもしれませんが、とりあえず変更点に関する説明以上じゃないな。 |
| 0:23:33 | ちょっと、 |
| 0:23:34 | と、幾つか、さらにあったのは、 |
| 0:23:37 | 47 ページですね、47 ページで、 |
| 0:23:42 | いわゆる K K カッパーとかそういうところも含めて御社としてはこういうふうに考えて、 |
| 0:23:47 | すると。 |
| 0:23:50 | いうことは記載されたんですけど、結局この、 |
| 0:23:54 | 上の箱書きの二つ目の、この |
| 0:23:58 | 形の数値が土木学会のによる再現性の目安の概ね下限値となっているって、これが、何て言うんすかね、示すことの意味っていうんですかね。 |
| 0:24:09 | これが結局ど、どういうことなのかっていうのをちょっと教えてください。 |

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 0:24:17 | はい。中部電力の森です。まずこの部分については、前回平均応力降下量というか、滑り量観点から 1.7MPa とした痕跡再現モデル。 |
| 0:24:30 | ただ、概ね再現性が良好だというふうに書いてあって、ちょっとそこと実際のところ、もうちょっと、1.6 名が何かにした方が再現性がいいんじゃないかというようなことを、ご指摘いただきました。で、 |
| 0:24:44 | 実際のところは、滑り量設定値は、 |
| 0:24:48 | いろいろ経験を横から振って出てきた中で一番いいものを選んだというよりは、設定値として、平均お金を決めた上で、 |
| 0:24:59 | 分析どう比較したときに、どういうふうになってるかということを分析しておりますので、そのようにちょっと今回記載を見直させていただきました。で、 |
| 0:25:09 | その上で、平均応力は 1.7 としている。遠州灘沿岸の痕跡再現モデルについては、K カッパーを見ていただくと、再現性の目安の 0.95 から 1. |
| 0:25:21 | 05 の下限値ということで、右の方の表に記載しております通り、0.95 というふうになってますので、 |
| 0:25:31 | 箱書きにも少し記載させていただいてますが、研修の沿岸域における津波痕跡を、ある程度保守的に再現するようなモデルになってるというふうに考えております。 |
| 0:25:43 | 以上です。 |
| 0:25:45 | はい。規制庁、西郷です。すいませんもうちょっと趣旨が伝わってなかったかもしれないので、ストレートに聞くと、なぜその下限値っていうのがいいのかって言う判断っていうんすかね。 |
| 0:25:58 | 下限値となっていることが今の書き方だと、下限値となっているんで、いいですみたいな、そういうふうに読めてなんでじゃあ、 |
| 0:26:07 | 下限値だ。 |
| 0:26:09 | ならいいのかという、そういうすごく僕は素朴な疑問。 |
| 0:26:15 | ちょっとお聞きしたんですけど。 |
| 0:26:20 | はい。中部電力の森です。 |
| 0:26:23 | あくまでも、この形カッパーからこの再現モデルをしっかり作り込んだというわけではないので、 |
| 0:26:35 | 規制庁佐口です。いや、なので、私の勝手な理解かもしれないんですけどあくまでもこういった計画だとかそういう範囲の中で、最も |
| 0:26:46 | 保守的になるのは結局平均応力降下量が大きい。 |
| 0:26:51 | ものだから、だから、今こういうふうの設定をしたっていう。 |

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 0:26:57 | ふう理解をしたのと、あとちょっと書いてないかなと思ったのは以前お聞きした時にお答えになられたプレートの沈み込み速度を考慮しないモデル。 |
| 0:27:10 | の方が、もう同じような、 |
| 0:27:14 | 範囲に入っているもので、 |
| 0:27:17 | 当然あるわけなんですけどっていうので、いや、当然銅っていうのは、小さい方がより良いという御社が判断をされている部分もあると思うので、そういう、 |
| 0:27:30 | 何て言うんすかね。何でこれがいいんだということをストレートにですね、ちょっとここは書いていただきたいのと、私がさっきちょっと申し上げた、 |
| 0:27:40 | 理解で本当に、勝手な私の勝手な理解なんですけどそれでいいのかわかっていうのを教えてください。 |
| 0:27:49 | はい。中部電力の盛です。ありがとうございます。経営銅に関して我々の言いたいこととか、説明したいことは佐口さんがおっしゃる通りでございますので、 |
| 0:28:00 | 形が小さいほど、痕跡に対して津波高が全体的には大きくなるというような指標であるということと、銅についてはその分布が、 |
| 0:28:10 | より合ってる方が小さくなるというような指標ですので、その辺りがちょっと今資料からわからないので、あまりストレートに読めないというようなご確認かと思えます。 |
| 0:28:22 | そうですね。ちょっとその辺りが読めるようにさせていただければと思います。 |
| 0:28:27 | いかがでしょうか。以上です。 |
| 0:28:31 | はい少なくともここは御社の考えですので、少なくとも御社の考えがちゃんと伝わるような記載はしていただきたいと思えます。 |
| 0:28:39 | ちょっと一旦以上です。 |
| 0:28:43 | はい。中部電力盛です。ありがとうございます。承知いたしました。 |
| 0:28:54 | とか、資料の直しの関係では、よろしいですか。 |
| 0:28:59 | この方います。 |
| 0:29:08 | はい。規制庁サグチすみません |
| 0:29:11 | 一旦以上と言いながら、最後ですね、さ、 |
| 0:29:15 | 217 ページ以降で、前回 |

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 0:29:20 | ヒアリングの時にも確認をさせていただいたんですけども、これは地震の時の地震動評価のときの会合で、我々が再度、さらにコメントをして、 |
| 0:29:32 | 結局その |
| 0:29:34 | 影響、 |
| 0:29:35 | 評価のの影響の観点でどうなのかっていうところで、もう少し考察なり、記載の充実化なりをしていただきたいということ、 |
| 0:29:46 | 前回のヒアリングでも申し上げたと思うんですけど、217ページのところの、 |
| 0:29:51 | まずコメント回答の概要ですね、概要の最後で、やっぱり、 |
| 0:29:56 | その何ていうんすかね、文末の最後が、両者は概ね整合していることを確認したって終わられて、結局津波評価の影響の観点からはどうなんだっていうことが、 |
| 0:30:08 | やっぱりよく読めないんですね。で、そのあともずっと言っても、最後の222ページで、おなじことですよ。 |
| 0:30:18 | 津波評価への影響の確認を行い、という。 |
| 0:30:21 | ことを書きつつも、最終的に、 |
| 0:30:24 | 書かれているのは、両者は概ね整合していることを確認したと。 |
| 0:30:29 | だから、 |
| 0:30:30 | 結局その両者が概ね整合しているとか、あと、この222ページで書かれていますけれども、上の箱書きですよ、 |
| 0:30:41 | 深さとか結局経営者が概ね整合しているっていうことが、津波評価の観点からどういうことなんだということが、 |
| 0:30:50 | きちんと考察をされた上で、何か記載が、 |
| 0:30:54 | されているのかなと前回から今回の変更点として、と思っていたらそうではなくてあくまでも整合しているからっていうだけで終わってるんですけど、ここについて何かそういう、 |
| 0:31:07 | もうちょっとその整合しているからどうなんだという、いうことって何か言えないんですかね。 |
| 0:31:17 | はい。中部電力の盛です。ご確認の趣旨を少し履き違えがちょっと拾いきれてなかった部分があったかと思います。 |
| 0:31:26 | 今回上の箱書きのところには、傾斜角や深さも含めて、大体整合しているということを記載させていただきました。また、 |

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 0:31:36 | 概ね敷地を通る、小断層の断面、2'断面だとかその断面を多少曲の 1133 なんかを見ても、海域部分でほとんど松原 2011 によるプレート境界面というのが、推定されてないということも記載させていただきました。 |
| 0:31:52 | それを踏まえて、両者が整合しているもしくはあまり推定されてないということも踏まえた上で津波評価にも影響が基本的にはないということ をきちんと記載させていただきたいと思います。以上です。 |
| 0:32:08 | はい規制庁佐口です。なので我々が求めたことに対してはしっかりです ね、それを踏まえた上での回答なり記載をしていただければと思います ので、よろしくお願いします。 |
| 0:32:33 | はい。 |
| 0:32:34 | とりあえず以上でよろしいですか。 |
| 0:32:39 | はい。すいませんちょっと |
| 0:32:41 | 今回のコメント回答と直接ではないんですけども、ちょっと大体の経 緯を経緯というか概略を早くキャッチアップしたくてですね。 |
| 0:32:52 | ページでいうととりあえず 14 ページなんですけれども、 |
| 0:32:59 | これが前回の会合と今回の会合の大きな差分ですと言っていて、 |
| 0:33:05 | これの基準断層モデルの上昇側が、数字が変わってるところでいうと敷 地前面 22.5 が 22.7、20 センチ上がりましたと言っていて、 |
| 0:33:18 | これが結局、 |
| 0:33:21 | 阿南上野、所新居、検討波源モデル A S D の領域の数だとかライズタイ ムとかいろいろ書いてあって、ここの違いで言うと、これもっばら東へ 40 キロに整備駅の位置を移動したこれによって、 |
| 0:33:37 | 土岐、20 センチ上がりましたっていうことで、 |
| 0:33:42 | 多分理解は合ってるんですよ。多分後でいくと 143 の方で、 |
| 0:33:48 | 具体的に多分概略パラメーターの結果と詳細パラメータスタディの結果 両方載っていて、 |
| 0:33:56 | これが |
| 0:33:59 | 概略パラメータスタディの結果としても、もともとの西江 20 キロ基準 1 とかってこの辺から 20 センチぐらい上がっていて、 |
| 0:34:09 | 詳細パラメータスタディの結果の方も、そのままそっくりそのままです ね。 |
| 0:34:14 | 22.522.7 というふうに 20 センチ上がっていて、 |
| 0:34:19 | ここはもうこれ、これによって 20 センチずれたっていう、その理解で 合ってますかね。 |

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。 発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 0:34:28 | はい。中部電力の盛です。ご理解の通りです。13 ページで、変更概要で、 |
| 0:34:37 | もう少し説明させていただきます。 |
| 0:34:42 | こちらの左側が前回審査会合でのパラメータスタディで右側が今回の津波評価の方のパラメータスタディということで、上の方に概略パラメータスタディのグラフが記載しておるかと思えます。 |
| 0:34:56 | 前回までは、西へ 10 キロが最大ケースだというふうを選んでいたところを、今回は右側の東 40 キロが、概略パラメータスタディの時点で最大ケースだというふうに、 |
| 0:35:09 | 選び直しています。こちらのグラフの違いについては、左側が破壊伝播を考慮しているのに対して、右側は赤字で記載してると同時破壊として破壊開始の影響がないように選んだと。 |
| 0:35:22 | いうところで、選ばれる滑り域の位置が変わってきているというものでございます。で、その下の詳細パラメータスタディに行くケースが変わってきて、 |
| 0:35:34 | ていますので、その関係で、22.5 が 22.7 というふうに、 |
| 0:35:41 | 津波高が変更になったということでございます。 |
| 0:35:46 | はい。以上です。ありがとうございます。そうするとそもそも概略パラメータスタディの段階で今回の変更で、 |
| 0:35:55 | 以前だと 20 キロの方が高くて、東に動かすにしたがって、 |
| 0:36:02 | 下がってですね、最後東 40 キロところでもう少し、 |
| 0:36:06 | 高まっていたものが、 |
| 0:36:09 | 今回だと、もっぱら 20 キロから東 40 件まででもっぱら東に行くに従って、 |
| 0:36:15 | 高くなってますのでこれが破壊伝播そっ下階の電波を同時破壊にしたことによってこの右肩下がりから右肩上がりに変わってる。 |
| 0:36:26 | ということですかね。 |
| 0:36:31 | はい。中部電力の盛です。ご理解の通りです。で、今回、右下の方に詳細パラメータスタディのグラフを今回の結果として付けております。で、 |
| 0:36:42 | 先ほどご指摘いただいた通り上側の概略パラメータスタディ等下側の詳細パラメータスギノ傾向というのが、同じだということも確認しておりますので、 |
| 0:36:53 | 今回の |

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 0:36:55 | パラメータスタディのやり方、同時破壊として検討するやり方というのがうまくいってるのかなということを分析しています。 |
| 0:37:03 | で、詳細、この下の詳細パラメータスタディについては、左側と右側で、少し何が違うのかということなんですけれども、基本的にやってることは変わらないんですけども、前は、 |
| 0:37:16 | ライズタイム 120 秒までが詳細パラメータスタディ。 |
| 0:37:19 | さらなる不確かさとしてライズタイム 60 秒というふうにステップを踏んで、構成を資料構成させていただいたところを、一つの詳細パラメータスタディというところで、ガチャンコしていると。 |
| 0:37:32 | ということで、基本的なそのパラメータスタディやってることってのは変わらないので、この数字自体は、前回は今回も変わっていないものになりますただ、 |
| 0:37:44 | 東 40 キロというのを前回までは選んでいませんでしたのでちょっとこの数字が見えていなかったというところを、今回その上段のところの仕切りとして、同時破壊で破壊開始に行けばないように、 |
| 0:37:57 | 検討したというところで、抜けがないような検討を行うことができたのかなというふうに考えています。以上です。 |
| 0:38:05 | はい。ありがとうございます詳細パラメータスタディの方は、多分、最後の最後、津波の高さに答えになる部分のパラメーターと一緒に、 |
| 0:38:15 | その過程でどこにどの位置付けでおきましたかっていうのはその記載が変わったということですね。はい、ありがとうございます |
| 0:38:22 | 次にですね、下降側、下がる側なんですけど、 |
| 0:38:28 | これが 30 銭では 30 センチ失礼しました |
| 0:38:32 | 秒なので 0.0 コンマ。 |
| 0:38:36 | 三分、大きくなっていて、これ幾つか、すいません、同じ 13 ページでいくとこれは幾つか数字が変わっていて、 |
| 0:38:48 | 滑り期間の距離、滑り益の場所これも 10 キロぐらいずれてるんですねライズタイムは一緒に、 |
| 0:38:57 | 破壊開始点が変わっている。 |
| 0:39:00 | ということで、これは一番効いてるのってどの辺りを見ればいいですかね。 |
| 0:39:08 | はい。中部電力の盛です。こちらちょっと 13 ページのね上昇側しかちょっと載せていませんでしたので、加古川もやっていますということを追記させていただきますけれども、 |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 0:39:19 | 同じように、滑り域の位置の選び方が、上昇側と同様に同時破壊として選んで、破壊開始の影響がないように選んでいる関係で、変わっております。 |
| 0:39:31 | で、そこから後段の詳細パラメータスタディに行った時点で、再度ライズタイム破壊伝播速度破壊開始点と選び直しておりますので、滑りの位置が変わった影響で、ライズタイム等の、ごめんなさい。 |
| 0:39:45 | 破壊開始点の1もはなかったものが選ばれているというような状況でございます。以上です。 |
| 0:39:52 | はい、ありがとうございます。これあれですね14ページのところに入る前の、いわゆる上昇側でいえば13ページみたいな、13ページの概略パラメータスタディのこの段階で、 |
| 0:40:05 | ほぼほぼほぼっていかこの数字の違いは、 |
| 0:40:08 | そっちの方見ればいいんですね。わかりました。はい。 |
| 0:40:11 | ありがとうございます。 |
| 0:40:12 | 次2すみません、2回出てくるであるんですけど、近いところ言うと15ページなんですけど、 |
| 0:40:19 | すいませんこれちょっと薄まっちゃちょっと数年ぐらい前には、私耐震化と別のところに来んですけども、いて、 |
| 0:40:30 | もうその当時からなんん議論になってたような気もするんですけど、これ、内閣府の最大クラスモデルと、今回は御社が独自に、 |
| 0:40:41 | 検討波源モデルを作って、 |
| 0:40:44 | そのあといろいろとパラメータスタディをやってってということなんですけど、 |
| 0:40:49 | 最終形態ってその違いでパッと見て、すいません、すっと入ってこなかったんですけど、結局、 |
| 0:40:56 | 最後内閣府の最大クラスモデルと最後比較をしてそれよりも上回っておりますっていうのはあるんですけど、 |
| 0:41:03 | 最終的なこれ違いって、最後東の端を、 |
| 0:41:08 | 伸ばして、そこに佐野町を滑り傷を設定してっていう、最終的にはいろいろ検討を重ねてばし、概略詳細と絡めてSARRYやった結果、 |
| 0:41:19 | 最後この東の端の部分ここが家が違うんですかね。 |
| 0:41:23 | ちょっと違い。 |
| 0:41:25 | パートってすいませんすっと入ってこなくて、 |
| 0:41:30 | はい、中部電力の森です。 |

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 0:41:33 | 最終的に選定しますと 22.7 メートルのケースと、内閣府のケースが、どこが違うのかというような比較分析をしたのがこちらの図表になっております。 |
| 0:41:44 | で、違いだけを並べたものが下の表になっておりまして、今ご指摘いただいたような、駿河湾内に、の滑り量設定として、すべて超滑り域の滑りを設定するのか、 |
| 0:41:58 | しないのか、ない大学は設定しないということに対して、当社は敷地への影響の観点から滑り域を設定してございます。それが上の表でいう、青の点、 |
| 0:42:10 | 点の破線で囲ったような領域の中の話になります。 |
| 0:42:15 | また、もう一つの違いとしまして、超滑り域を滑りの位置が、内閣府モデルは、ある一定の位置に置いているということに対して、 |
| 0:42:26 | 22.7 メートルモデルは、先ほど見ていただきましたように、滑り域のパラスターを細かくやっているというところも違いとして出てきています。 |
| 0:42:35 | あとは、破壊開始点が、内閣府のケースは、P2 地点ということで、滑りの方 1.2、設置しているところを、偶然的不確実さということで、 |
| 0:42:48 | 弊社の 22.7 メートルモデルをいろいろ振った上で、一番大きいところを選んでいう、この 3 点が、22.7 メートルのモデルと、内閣のモデル等で、 |
| 0:42:58 | 違うところであると、いうことをお示しさせていただきます。 |
| 0:43:05 | こちら 22.7 のモデルとの違いということなんですけども、 |
| 0:43:11 | 弊社の津波評価の中では、もう少し敷地前面に大きいモデルのほかに、先ほど見ていただいたような、取水塔に影響の大きいモデル取水層に影響の大きいモデルというのも選んでおりますので、 |
| 0:43:24 | 選んだモデルの全体概要については、19 ページのところ、フローとして、最終的に泥層選んだのかというところをお示しさせていただきます。 |
| 0:43:34 | この中で、内閣府と似ているケースということで、22.7 メートルのモデルと、内閣のモデル等の違いというところを明確にお示しさせていただきますというのが先ほど見ていただいているページでございます。 |
| 0:43:49 | 以上です。 |
| 0:43:51 | 中部電力天野でございます 1 点補足させていただきたいんですが、 |
| 0:43:56 | 208 ページ、お願いします。 |

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 0:44:09 | 今盛から説明させていただいた全体をまとめると先ほどの1枚になるんですけど、内閣府に対してそれぞれ、当社としてどういった要素を取り入れたか、その影響度合いっていうのが、 |
| 0:44:23 | どれぐらいかってのをここにお示しさせていただいております、破壊開始点だけを内閣府に加えると、1メートルぐらいの増分がありまして、それに対して、さらに、 |
| 0:44:37 | 敦賀湾内に超滑り域を見えるということで50センチプラスになると、町を滑り域の滑り量、一応、東40キロを動かすことで10センチ出るということで、 |
| 0:44:49 | 各項目としてはこういう既往度で、内閣府モデル相当の、当社の検討波源モデルに対してより不確かさを織り込んだモデルとしているところ、こちら前回、 |
| 0:45:02 | 朝田管理官から、 |
| 0:45:04 | 基本的なモデルの考え方は一緒だけどどういうところが中部電力としてしっかり見てるかわかるようにということが、コメントいただきましたので、 |
| 0:45:15 | ここに記載をさせていただいているものでございます。 |
| 0:45:23 | なるほどはいと何が一番どう効いてきてるのかってのはよくわかります。はい、ありがとうございます。 |
| 0:45:29 | はい。 |
| 0:45:31 | 規制庁佐口です。ちょっと後から私もちょっと確認をさせていただこうと思ったんですけど、確認というか、コメントというかですけども、 |
| 0:45:41 | 15ページのところなんですけど、その先ほどの、 |
| 0:45:46 | コメントともう少しかぶるんですけど、 |
| 0:45:50 | この208ページもそうなんですけど、結局その御社、 |
| 0:45:56 | 最終的に何か上昇がはっきり。 |
| 0:45:59 | 言ってるんですけど、これ、下降側も何か大きく違うっていうのを一つ、大分結果としても違うっていうのは大きな違いっていうのと、 |
| 0:46:08 | 15ページに、例えばですよ、破壊開始点もこれ、P2とかP4ってあるんですけど、これ多分、よくわからないんですよ。でない株っていうモデルはまず破壊開始点は、 |
| 0:46:20 | これ、要は滑り利益の方の中央か何かに1点しか設定していなくて、御社の |
| 0:46:28 | 方は、まず複数これ設定をしているっていうことが大事なんじゃないですかねこのP2とかP4なんて言われても、何これっていうので、 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 0:46:38 | だから、そういうところをきちんとですねまず記載をしていただいた上でですね、結果としてはその、 |
| 0:46:47 | P2 っていうのは御社がP2 とつけたところですよ。 |
| 0:46:52 | P4 っていうのは、当然御社がつけた、のところなので、 |
| 0:46:56 | 結果としてはそういう位置なのかもしれないんですけども、 |
| 0:47:01 | 違いとしては、内閣府は1点しか設定していない破壊開始点で御社は複数設定しているという、そういうところがきちんとですねわかるような、 |
| 0:47:11 | まず記載をしていただきたいというのと、 |
| 0:47:15 | 当然その、 |
| 0:47:16 | 結果としても、上場ガードーだけじゃなくて、加古川もこんなに違うんですよっていうのは当然、そこもポイントなので、そこがきちんとですね、書いていただきたいと思います。 |
| 0:47:31 | はい。中部電力盛です。ありがとうございます。す。 |
| 0:47:35 | 202 ページをお願いいたします。 |
| 0:47:46 | こちら内閣府の最大クラスモデルとの比較分析ということで、ちょっと先ほどのまとめの表でははしょってしまっている部分ございましたけれども、 |
| 0:47:56 | 一緒のところと違うところ等、パラメータスタディを実施しているとかそのバンド幅も含めて、すべての情報を載せたものがこちらになります。で、こちらから違うところということで、結果的に選ばれたモデルに対して赤字、 |
| 0:48:13 | の部分が、内閣の最大クラスモデルと違うところだということを記載したものが、先ほどのまとめの方になります。ちょっとこちらでは滑りの方の中央とか、きちんと書かさせていただいたところが、またページで少しくまなく書けていないところございましたので、 |
| 0:48:30 | 表がありますので、小計を修正させていただきたいと思います。また、加古川についても、内閣府モデルは大分、違うモデルを選んで、加古川についても比較ということで、 |
| 0:48:45 | どの部分が大きく異なるのか聞きたいと思います。以上です。 |
| 0:48:56 | はい。規制庁佐口ですけれども。なので、基本的に私も当然この280、ごめんなさい202 ページとかも当然わかっているので、私の言いたかったことはまさにそういうことで、 |
| 0:49:08 | 端折らず、ちゃんと違うところは明確にわかるような、資料にさせていただきたいと、そういう趣旨ですのでよろしくお願いします。 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 0:49:27 | はい。他は大丈夫ですかね。はい。私もその破壊開始点のところのくだりは内閣府の方で何かP2と呼称しているのかなとすいませんちょっと私も誤解をしていたので、 |
| 0:49:38 | これ、 |
| 0:49:40 | 202 ページのところって言ってる破壊開始を滑り域の下端中央って書いてこれは内閣府のモデルの方に、まさしくその通り。 |
| 0:49:49 | 書いてあるんですよ。すなわちそれが、 |
| 0:49:52 | 御社でいうところのP2、 |
| 0:49:54 | 当たります。 |
| 0:49:57 | ことで、その利それで理解やってますか。 |
| 0:50:02 | はい。先ほど佐口さんからもおっしゃられた通りで、内閣の思想としては滑り域の片側の中央に設定するというふうになってますので、内閣の記載に合わせたように修正させて、先ほどのまとめページを修正させていただきます。 |
| 0:50:16 | はい。度に測り返した全部でこれは六つ、P-1から6まで六つあるんですかね。 |
| 0:50:23 | は、今回の資料には多分入ってないのかもしれないですけど、1から6が全部でここに設定されていますというのは、これはどこかで見れましたっけ。 |
| 0:50:36 | はい、そうすればいいんですか。はい。 |
| 0:50:40 | それだけをね168、160。 |
| 0:50:45 | 168 ページをお願いします。 |
| 0:51:03 | はい。これですね。はい。 |
| 0:51:06 | はい。当然詳細パラメータスタディのう設定条件を記載しております、破壊開始点のところ、滑り域を囲うように、6地点、設定しております。 |
| 0:51:18 | どのモデルも同じように設定しているんですけどモデルが複数ございますので、詳細は補足説明資料のモデル設定のところですべてわかるようになっております。 |
| 0:51:29 | はい、ありがとうございます。モデルだからMDも当然そのそれぞれのモデルの滑り域の設定の仕方が違うので、 |
| 0:51:37 | 当然視点としては違いますが考え方としては、基本、123号炉、それぞれの設定の考え方は一緒ですよこれ見る限りはい。 |
| 0:52:41 | あとすみませんこれも前回津波堆積物の方のマーカー並み大盛況使うすかね歴史津波とかあちらの方、 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 0:52:50 | 野瀬、今月の会合のときの話だったんですけど、これ、後ろの方最後231とかですね、この辺で説明。 |
| 0:53:01 | ているところというのは、 |
| 0:53:04 | よく、 |
| 0:53:06 | ちょっと前回は資料の扱いとして、位置付けとして最後どうかっていうところではあったんですけど、 |
| 0:53:13 | 一応これで、 |
| 0:53:15 | 充當時のですね、つなぐ掃除の敷地の形状、 |
| 0:53:20 | そのため、形状その他にタニ地形だったので、それによって発電所のこの辺りのところですねのみ、 |
| 0:53:29 | 最大津波水位が高くなったっていうのは、 |
| 0:53:33 | 一応、この説明自体は、ここで津波、津波で言うところの、前回の会合ですね。 |
| 0:53:41 | そこは変えてないですよ。 |
| 0:53:45 | なんでちょっと前回津波堆積物の方の調査の方で若干最後、結論というか、ちぐはぐになっていたんで、今月の頭の方の会合で、 |
| 0:53:57 | 指摘が出たのかなと思ってんですけど。 |
| 0:54:07 | はい。中部電力の盛です。谷一木松波の一般的なその遡上現象として、谷地形によって、津波が集まって遡上高が高くなると。 |
| 0:54:17 | いうことは、一般的にあり得る事象ですので、それを土木学会の式、もしくは数値シミュレーションで、きちんとお示しさせていただいたというのがこちらの資料になります。 |
| 0:54:28 | 一方で先日、実施いただきました審査会合では、松波の実際の堆積物がどこまであるのかというところの議論でございます。で、 |
| 0:54:40 | タニ地形の中の海起源かどうかというところまでも、判断する前に、保守的にイベント堆積物というのを0から8メートルというふうに |
| 0:54:52 | 最終的に議論の結果、 |
| 0:54:55 | 記載を見直した記載とか、公表を見直すということになりましたので、そちらの別途説明させていただきたいと思っておりますけれども、その結果を踏まえて、も検討したのがこちらのNo.6 コメント回答でございます。 |
| 0:55:08 | 以上です。 |
| 0:55:11 | はい。どの、どこまでお前。はい、どうもありがとうございます。はい。 |

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 0:55:20 | 一応こちらの資料と、前回会合ですね、堆積物の方の会合でのコメントを踏まえて多分直すんだと思うんですけど、そこは、一応西郷結論のところは、 |
| 0:55:31 | 整合するっっちゃうことですね。はい。 |
| 0:55:35 | どこまでを津波堆積物と一応見直す形で実際に津波堆積物かで突き詰めるのはどこまでやるかは別としてですね、皆、そこまでは整合する方で、 |
| 0:55:45 | 方向で資料の修正が進んでいるということです。わかりました。はい。 |
| 0:56:00 | 何かありますか。 |
| 0:56:03 | なるほど。 |
| 0:56:12 | 規制庁ニシキですけども、ちょっと同じ関連のところ、 |
| 0:56:18 | 225 ページとかで敷地の津波堆積物の標高という書かれ方をしているんで、その辺りそのまま、 |
| 0:56:25 | 結局保守的には津波対策とみなすということだと思ってるので、ただこの辺だとなんかも、 |
| 0:56:33 | 何て言いますか、その津波対策とその裸で書いてると、何て言いますか、もう全部認めまして、全部津波堆積物ですよと言ってるようにちょっと見えるかなと思うんでその辺、ここに、 |
| 0:56:46 | 225 の箱書きの下のところに詳細は |
| 0:56:49 | 歴史記録津波堆積物の元調整を参照とは書いてるんですけどもちょっと、 |
| 0:56:55 | この辺、いきなりこの津波堆積物って出ちゃうとあれかなと思うんで、基本はイベント堆積物っていう、この |
| 0:57:03 | ボーリング調査地点の絵の中でとイベント堆積物が確認された点という赤で書かれてるようなところで、イベント堆積物ですよというふうに示している。 |
| 0:57:14 | 一方で、何か津波堆積物っていうふうにも書いてですねその辺ちょっと、 |
| 0:57:19 | 用語のが |
| 0:57:21 | 少し整理されずに書かれてるのかなっていうちょっと気がしたのでちょっとその辺どっかで定義するか、書いてた方が、 |
| 0:57:28 | 間違いなく、 |
| 0:57:30 | 組み入れるのかなと思いましたのでちょっとコメントをいたしました。 |
| 0:57:35 | で、ちょっと続いて、あと 228 ページのところ、 |
| 0:57:39 | そこで図のところ、私、確認しきれなかったんですけども、 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 0:57:44 | 左上のボーリング平面図のところ、 |
| 0:57:48 | 何年線っていうのが、灰色の線で書かれてるような凡例があるんですけども、これってどこにこの図の中にどこにあるのかなっていうのをちょっと教えていただきたいんですけども。 |
| 0:58:06 | 中部電力の永松です。もう、228 ページの断面線のご指摘なんですけどちょっとこれ図には記載ないものなので、誤記ということで、させていただきます。 |
| 0:58:17 | また 225 ページの津波堆積物の方についても、ちょっと誤解を生まないような記載を考えて、適正化いたします。以上です。 |
| 0:58:28 | 規制庁ニシキです。 |
| 0:58:30 | はい。一切その辺ちょっとよろしく願いいたします。多分 200 最後の 232 ページのところの下のところも、 |
| 0:58:39 | 米印で、 |
| 0:58:41 | 敷地の津波堆積物については、と書いてあるんですけどその辺のところも多分同じような関連で、数年、これはその辺の修正を、 |
| 0:58:52 | ぜひ、ちょっとお願いいたします。 |
| 0:58:56 | 私の方は以上です。 |
| 0:59:14 | はい。他は。 |
| 0:59:16 | この関係では、 |
| 0:59:20 | コメント回答部分以外もちろん、今入ってますんで他は特に大丈夫そうですか。 |
| 0:59:26 | 谷中さん。 |
| 0:59:31 | 規制庁の名倉です。 |
| 0:59:33 | ちょっと本論から外れる部分はあるんですけども基本的な情報としてちょっと教えていただきたいことがあります。 |
| 0:59:42 | 資料でいくと、どこでもいいんですけど 140748 ページぐらいですかね。 |
| 0:59:49 | ここが概略パラメータのスタディ結果なんですけどもちょっとお聞きしたかったのは、 |
| 0:59:58 | 昇華点なんですけれども、 |
| 1:00:01 | 評価点と評価指標についてちょっと教えてください。 |
| 1:00:05 | 上昇側については敷地前面、 |
| 1:00:09 | これは多分膨張ての位置で地盤高いところ。 |
| 1:00:13 | それから等、各取水槽での、 |
| 1:00:17 | これは水が敷地に溢れるかいい中という観点で、 |

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 1:00:22 | おそらく水位を上昇が出してると思うんですけど、 |
| 1:00:26 | それで、下降側、一方で下降側については、 |
| 1:00:31 | 取水塔位置での、 |
| 1:00:39 | これは堰か何か出席取水塔の |
| 1:00:43 | 呑口の多分下端を下回る時間、 |
| 1:00:47 | ということで時間評価してるんですけども、 |
| 1:00:50 | これちょっとお聞きしたいのは、 |
| 1:00:52 | テイカ側で取水槽の、 |
| 1:00:55 | 最低水位っていうのは、これは基準津波策定上は見えてなくて施設評価上は見ているっていう理解でよろしいですか。ここら辺ちょっと教えていただけますか。 |
| 1:01:11 | はい。中部電力の盛です。ご理解の通りです。取水口案については取水塔地点の時間で今評価してまして、耐津波設計の際に、取水槽の増井 |
| 1:01:24 | ポンプポンプ前面の水位を評価するというような形で考えております。以上です。 |
| 1:01:32 | チームリーダ真野でございます。前半のお話で、どこを評価地点にしてるかっていうのを補足説明資料の36ページと、 |
| 1:01:43 | 37ページに記載させていただいてございます。 |
| 1:01:48 | 上昇側については、今名倉調整官からお話あった通りで敷地前面というのはさっき言うても含めて、防波壁前面のところ、 |
| 1:01:59 | の最高水位というので評価しております。それ以外、取水せ珪藻というのは緑の枠で囲った中の水位で評価をしているというものでございます。 |
| 1:02:12 | 37ページご覧いただくと、加古川の評価地点ということで、取水塔ので、 |
| 1:02:21 | 呑み口下端レベルを下回る時間で評価してましてこれ、もともと審査ガイド上でいくと、当然、下降側も、水、 |
| 1:02:31 | 評価をすべきところなんですけど、当社の場合、この最大クラス数のモデルでいきますといずれも、 |
| 1:02:41 | 底を打ってしまうという時間が出てきてしまいますので海底面が出てしまうってことで高さだけでは評価ができないということで、この呑み口から水が吸えない時間がどの程度あるかというところを、基準津波の |
| 1:02:56 | 指標として採用をさせていただいてございます。で、先ほど盛が申し上げた通り取水槽の水位、実際ポンプで吸えるかどうかっていうのは今後、耐津波設計とか取水性のところ当然取水トンネル、 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 1:03:11 | 等の設定もした上でまたご説明していくということになりますが、現状基準津波のところでは、まず水がちゃんと吸えるかどうかという意味での呑み口のところで、 |
| 1:03:23 | 評価をさしていただいているという状況でございます。 |
| 1:03:28 | 規制庁の名倉です。現状の考え方は理解しましたけれども、 |
| 1:03:33 | 海水ポンプの取水可能水位との関係で、 |
| 1:03:38 | どういうふうな取水炉の取水トンネルの間の特性とかそういったものが、 |
| 1:03:44 | 実際の津波の伝播特性とか津波の特性とどういうふうな、 |
| 1:03:50 | 関係するかによっては、これ、 |
| 1:03:54 | うん。波源の設定によらないとか波源の細かなそのパラメーターの推移に対して感度がなければいいんですけど、感度がある場合についてはこれで戻りが発生するっていうことは一応理解した上で、 |
| 1:04:09 | 入力津波でやったとしてもその時の、例えば最大ケースとかそういうものに関して少し検討が必要になるんですけどそこは今までのサイトでもやってたんですけど、 |
| 1:04:21 | そこは後からやるっていう理解でよろしいですね。 |
| 1:04:28 | チームの加茂でございます。はい。後段で、当然、海水ポンプで整理せないというところで、そういった議論をさせていただくことで理解しておりますただ、 |
| 1:04:39 | 今回もお示ししてまず通り加古川自体いろいろ検討させていただいてますが、それほど、 |
| 1:04:49 | 波によって感度が大きいわけじゃなくて、0. 何分違うというようなところですので、あとは、中に入ってからどういうふうな推移。 |
| 1:05:00 | が変わるかというところでおそらくそんなに影響はないんだろうというふうには考えてございます。 |
| 1:05:08 | 規制庁名倉です。これは評価点の妥当性の説明いかんだと思うんですけど今の段階である程度、 |
| 1:05:18 | 取水槽における海水ポンプ前面位置における、 |
| 1:05:23 | 通す水位、最低水位とその変化っていうものに関して、 |
| 1:05:28 | 感度解析とかいろんな波源での感度がないということの、 |
| 1:05:35 | 説明を最初にするのか最初に説明しないのであれば後から求めることになるんですけど、ただそれはもう基準津波決まってから、 |
| 1:05:44 | 後から求めるできないのであらかじめ宿題を出しますけれども、 |
| 1:05:49 | そこら辺の検討を多分、 |

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 1:05:52 | ちょっと感度解析これ結構しんどいんですけど下の解析で全部表現するってというのは、 |
| 1:05:59 | 私が言ってんのは |
| 1:06:01 | いろんな津波のパラメータに対してシュシュ取水塔の水位変化に対して、感度解析をやんなくちゃいけなくなるので、曾田比嘉感度解析の解析の数が、 |
| 1:06:12 | 結構莫大な数になってしまう可能性があるんですけど、そういったところをどういうふうに今後、スクリーニングアウトするのかってのよく考えた方がいいかなと思いましたが、いかがでしょうか。 |
| 1:06:25 | はい。中部電力の盛です。 |
| 1:06:28 | 少し我々の考えを補足的に説明させていただきます。37 ページ、補足の37 ページのところ、今、左側の取水塔のところの水位低下時間ということで、 |
| 1:06:40 | 具体的には、取水塔呑口下端レベル-6メートルというふうに書いてございますけれどもここよりも、再開水位が下がった時間というのは評価しております。 |
| 1:06:50 | で、津波、上がったたり下がったりして当然取水塔が上がって、中の主取水槽の水位が上がると、取水槽の頭の水位が下がった時に、同じように中の水も下がっていくと。 |
| 1:07:02 | で、このみ口を切った時点で、あの中の水の変動というのがなくなりますので、基本的には時間で評価しておけば、波源によらずですね、 |
| 1:07:13 | その中のあとはポンプのS出る時間との関係で基準値が前提と評価できるというふうに考えてございます。 |
| 1:07:20 | はい。以上です。 |
| 1:07:21 | その関係でございます。もう1点補足させていただきたいんですが、補足説明資料の補足させていただき、説明資料のページから、 |
| 1:07:37 | ページからお願いしたいんですが。 |
| 1:07:45 | 以前の会合の中でですね |
| 1:07:49 | 中のその姿勢トンネルから取水槽まで、 |
| 1:07:52 | のモデル、すでに組んでございましてここでは、途中にある連絡水路がある、あるときとないときで、その流量に差が出るかと。 |
| 1:08:03 | いろんな評価をさせていただいてそこは影響しませんという回答をさせていただいております。このモデル自体すでに組んでありますので今、名倉調整官おっしゃられた通り、 |
| 1:08:14 | 当然、今後、耐津波設計等で、 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 1:08:19 | ここの管路の考え方等でご説明必要になると思いますが計算自体はもうモデル組んでるので、比較的、 |
| 1:08:28 | 早く対応できると思ってございます。 |
| 1:08:33 | 規制庁の名倉です。盛さんの説明先ほどありましたけど、 |
| 1:08:38 | それで大体理解はできました |
| 1:08:41 | 要は取水塔呑口下端レベルを下回る時間においては、 |
| 1:08:48 | 水水位の変動要因としては、管路の特性と入力入力の特性そのものよりも、 |
| 1:08:55 | 実際海水ポンプが主吸っている水による加工の方が支配的だということころ。 |
| 1:09:03 | これはちょっと理解は一応しました。ですからある意味 |
| 1:09:08 | 最大ケースが特定された時に念のために確認するかそういった方針を述べていただければそれで、 |
| 1:09:15 | いいのかなと思いますのでそこら辺はちょっとまた、 |
| 1:09:19 | 必要に応じて、 |
| 1:09:23 | 検討をお願いしたいと思います。指摘をしていきたいと思います。一応、今の評価点の考え方については理解をしました。以上です。 |
| 1:09:40 | はい。 |
| 1:09:42 | あれこっちのね。 |
| 1:10:04 | 中部電力の方、すみません規制庁の名倉です。中部電力の方これ、今つつ、 |
| 1:10:11 | はい。 |
| 1:10:12 | 通信状況どうでしょうか。 |
| 1:10:14 | 入ってますでしょうか。 |
| 1:10:18 | 中部電力浜野でございます。はい。今、名倉調整官のお言葉聞いたり聞こえております。 |
| 1:10:24 | 名倉です。あと私が一応今の評価点の考え方は理解をしましたと。 |
| 1:10:32 | というところと、念のためにまた、あとのプロセスでもいいから確認するということについては今後、 |
| 1:10:40 | 少し対応を検討していただきたいということはお話をしたんですが、こころは伝わってますでしょうか。 |
| 1:10:50 | 中部電力天野ですはい。しっかり聞こえてございます。 |
| 1:11:04 | 規制庁佐口ですけども、ごめんなさいすごく今 |
| 1:11:08 | 細かいことが気になって、確認させていただくんですけど、補足の37ページで、 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 1:11:15 | 点線のところ、一番左下のところですね。 |
| 1:11:20 | これ、自分隆起量を考慮って書かれてんですけどこの地盤隆起量って何かもうすでになって言っていましたっけっていうのと、これ何かプラス1メートルか何かっていうのが、 |
| 1:11:30 | いや、ていうのはなぜかっていうとその、 |
| 1:11:33 | 補足で38ページとか次のページ行くと、またこれマイナス6メートルに、 |
| 1:11:38 | 戻っちゃうので何かここだけ。 |
| 1:11:40 | 今-5メートルのところ、これ点線があるんですけど、ここだけ何か違うのも何かちょっと、 |
| 1:11:46 | 変だなと思って。 |
| 1:11:48 | お聞きするんですけど。 |
| 1:11:54 | はい。中部電力の盛です。 |
| 1:11:57 | 30度評価の37ページ見ていただいたところで、加古川については、ガイドに従いまして、保守、どちらが保守的になるのか、地盤力がある方が保守的なのかない保守的なのかというところの中で、 |
| 1:12:12 | テイカ側の話になりますので、地盤隆起をそのままさせるというような設定で、計算しています。で、地盤隆起量については、津波の波源モデルから出てくるものをそのまま計算をしていますので、 |
| 1:12:25 | モデルによって、数字変わりますけれども、大体今の内閣のモデルだと2メートルぐらい敷地が隆起するというような形の評価になっております。 |
| 1:12:35 | で、38ページの方のちょっとTPの数字については、ちょっとわかりやすさの観点もあって、まず地震が発生する前の、 |
| 1:12:43 | 記載としてTP6とかTP6、-6.8というような記載をさせていただいてます。当然計算上はここにプラスして地盤隆起量がそれぞれのモデルごとに入ってくると、全体的には上に上がったり下に上がってくると。 |
| 1:12:56 | というような形での評価になっておりますので、あくまでもこれは地盤地震発生前の標高と、相対的な標高というふうに見ていただくのが、 |
| 1:13:06 | いいのかなというふうに思っています。少しその辺りの注記については、加えさせていただきたいと思います。 |
| 1:13:12 | 以上です。 |
| 1:13:15 | はい。佐口ですよろしく申し上げます。 |
| 1:13:21 | すいません引き継ぎ詐欺ですけど、ちょっとすいません、細かいところついでで。 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 1:13:27 | ちょっとこれ市費用全体を見ていて、主修正じゃないんですけど、追及をしていただきたいところがいくつかあってですね。 |
| 1:13:36 | 一番よくわからなかったのが、資料上ですね、私内容は当然わかってますけど資料上よくわからなかったのが、本編の 175 ページで、 |
| 1:13:55 | 検討波源モデルDってあるんですけど、 |
| 1:13:58 | 当然この検討波源モデル。 |
| 1:14:01 | Dってというのはどこに影響があるかっていうと、要はその取水槽の、 |
| 1:14:07 | 上昇側ってというのが、影響があって、今その基準断層モデル 3 の 2 っていうのがハッチングされていて、当然ながら、太字で 6.4 とか 9 とか、 |
| 1:14:20 | 9.6 とかあるんですけど、6.4 で、 |
| 1:14:24 | 3-1-3-2 も 3-3 もおんなじですよ。で、なぜ 3-2 なのかっていう、多分これを後ろの方でずっと見ていくと、 |
| 1:14:33 | さらにこう小数点とかで見ていくと、これが選ばれるんだなということはわかるんですけど、少なくともこのこの段階で、なぜ、 |
| 1:14:42 | 6.4 で全部一緒じゃないかっていうのが例えばその 180、 |
| 1:14:47 | 6 ページとかだと、 |
| 1:14:50 | 細かく 6.4 でもこう、6.39 なんですよとか、6.37 なんですよかってあるんですけど、 |
| 1:14:57 | 少なくともこの最初の、 |
| 1:14:59 | 175 ページっていうのは、 |
| 1:15:02 | 今そういう書き方されてなくて、なぜこいつが基準、赤ハッチングされてるのかっていうのはわかんないんでそこはちゃんと書いていただきたいと思います。 |
| 1:15:18 | はい。中部電力の盛です。承知いたしました。 |
| 1:15:21 | 今の三つのモデルの中で、基本的には 6.4 というところ同じなんですけども、1 から 5 取水塔全体を見たときに、包絡できるケースということで、市基準のあくまで 3-2 というのを選んで、 |
| 1:15:35 | おりますので、す。 |
| 1:15:37 | 基本的に評価上は、小数点第 1 に切り上げて評価するということも含めて、注記でわかるように、他のページと同じように注記させていただきたいと思います。以上です。 |
| 1:15:50 | はい佐口です。ただいまちょっとごめんなさいモリさんのご説明だと、何かひょっとしたらちょっと意味合いが変わってきて、 |
| 1:15:59 | 全体を見たときに、何か包絡されるんでいいんですっていう話だと。 |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 1:16:06 | 例えば 175 ページで、12 号取水槽が実は 6.4 という数字が三つ並んでましたけど、これが例えば 3-1 は 6.41 で、 |
| 1:16:19 | 3-2 が 6.39 だと、当然ながら 12 号は、 |
| 1:16:23 | 3-1 が選ばれる。 |
| 1:16:25 | てなってくると思うんですね。 |
| 1:16:27 | だからそう、そうすると、ちょっと先ほどの盛さんのご説明だとちょっと違うかなっていう話でいずれにしても、すべてのこの評価地点、 |
| 1:16:37 | 最高のものがきちんと選ばれているはずなので、そこはわかるような形で、 |
| 1:16:44 | 書いていただけますでしょうか。 |
| 1:17:01 | はい。中部電力の盛です。承知しました鷺さんの今おっしゃるような趣旨で、小数点第 2、3 位まで比べた上でどれを選ぶかということで、注記させていただきます。 |
| 1:17:13 | 注記次とつい追記をさせていただきたいと思います。以上です。 |
| 1:17:19 | はい。慶長サグチですよろしくお願いします。あつて、あとごめんなさい、最後全然本数字とは関係ないかもしれないんですけど、215 ページのところで、最終評価いろいろ書かれていて、一番下に全部、 |
| 1:17:33 | 計算ケースとして約 1000 ケースって書かれてるんですけど、御社結構ですね計算早いなという私の印象。 |
| 1:17:41 | 受けていたんですけど、これ実際に、例えば 1 ケース、 |
| 1:17:47 | 計算すしようとするのとどれぐらいその時間とかあったりするかっていうのもしわかる。 |
| 1:17:54 | んでしたら教えていただけますでしょうか。 |
| 1:18:01 | はい。中部電力の盛です。津波高によって結構変わってきまして、 Δt どこまで細かくするかによっても計算時間変わってくるんですけども、普通の |
| 1:18:12 | 平均的には大体 1 週間ぐらいで計算ができていうような形です。あと審判をちょっとどこまで、マンパワーと審判をどこまで集められるかというところ。 |
| 1:18:23 | 苦勞しているところではあります。以上です。 |
| 1:18:28 | はい。昨日わかりました。ちなみにその 1 ケースっていうのは、だから、何ていうんすかね波源モデル一つに対してっていうこと。 |
| 1:18:37 | でいいんですかねっていうのと、御社はこれなんか基本的に外注されますそれとも何か御社、実は自分のところでもできるのかなとふと思ったりして、 |

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 1:18:48 | その辺ごめんなさい細かいことですがもし |
| 1:18:52 | わかるんでしたら教えていただけますでしょうか。 |
| 1:18:59 | はい。中部電力盛です。技術的にもヒンシヨウ的にも厳しいところありますので、基本的には外注をしております。チェックについては、我々も関わってきちんと間違いがないかというところを、 |
| 1:19:12 | 進めながら一緒にやらせていただいているというようなところでございます。 |
| 1:19:18 | すいません、あと1ケース1系列約1週間、 |
| 1:19:22 | ですね一周、はい。 |
| 1:19:34 | はい、規制庁サグチです。ありがとうございます。というのは、 |
| 1:19:39 | ひょっとすると、 |
| 1:19:44 | もしですよ。 |
| 1:19:45 | 例えば、今後何か追加で、 |
| 1:19:48 | 計算が必要になるときがあったりなんかしたら、どれぐらいちょっと時間を見込んでおいた方がいいのかなと思ってお聞きをしたんですけど。 |
| 1:19:58 | ずっと、特にそのあまり大きな意味はないと言えないんですけど、すいません一応確認だけさせていただきました。 |
| 1:20:08 | 規制庁の名倉です。すいません私どもちょっと聞きたかったのは、 |
| 1:20:13 | 先ほど |
| 1:20:16 | どれだけ計算機を集めるかによってという部分もあるけれども基本1週間ですと言われたところ、それが意味するところは、これは |
| 1:20:26 | 並列処理をすることができるような、 |
| 1:20:30 | 解析全体のシステムだというふうに理解をしたんですけど、その時に計算機を最大限 |
| 1:20:37 | 並列で活用したときに、1週間がどれぐらいになるのかってのはちょっと、 |
| 1:20:43 | もしわかるのであれば教えていただけますが企業ノウハウであれば、これは答える必要はないんですが、 |
| 1:20:51 | はい、中部電力盛です。経理処理はもちろんやっておりましてその上で1ケース1週間ぐらいかかるということでございます。で、マシンを当然別に買ったりですね人をふやせばそれが並立できますので、 |
| 1:21:05 | 今そういう体制で新宅さん、 |
| 1:21:08 | そう、設置していただいて、並行して各ケースを、1週間でする範囲でたくさんまわしていただいているところの積み重ねで専決をしているというような形です。 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 1:21:20 | ナグラですわかりましたということで今ある計算資源については最大限ほぼさ予備があるかもしれないけどそれは考えないで、最大限計算資源を活用してやったときに大体、基本1週間かかるということで理解をしましたそれでよろしいでしょうか。 |
| 1:21:37 | はい、おっしゃる通りです。 |
| 1:21:44 | そう。 |
| 1:22:11 | すいませんさっきの取水、取水塔のところですいません思い出したんですけど、 |
| 1:22:17 | あれ地盤の広域の地盤の変状ってこれプレート間だから、もっぱら敷地側は上がる。 |
| 1:22:26 | 下降側はどうなるんでしょう。 |
| 1:22:28 | ひたすら上がって下がって、 |
| 1:22:31 | 紐をあれ沈降するのかな。 |
| 1:22:35 | これ。 |
| 1:22:37 | 進行式。 |
| 1:22:39 | 上昇敷地が高徐々上昇するんですね。 |
| 1:22:43 | それがそのケースによって違うっていうことで、 |
| 1:22:46 | 他方で上司津波の上昇側の方は、だから敷地が、 |
| 1:22:53 | 上がるけれどもあれは上がらないものとして、 |
| 1:22:56 | はじき出してる水。 |
| 1:22:59 | 2022、何メートルってというのは、 |
| 1:23:02 | あまりちょっとこちら側の方で聞く話ではないような気もせず、ちょっと気になったことなので、単なる質問ですこれは、 |
| 1:23:12 | はい。中部電力の盛です。補足の36ページに、上昇側の、 |
| 1:23:18 | 隆起の考え方というのを記載しています。 |
| 1:23:28 | 私の固液あ、聞こえてますでしょうか。 |
| 1:23:32 | はい。 |
| 1:23:34 | はい。こちらのプレート間だけではなくて、他にも対応できるように記載させていただいてますけれども、水位上昇側の評価方法ということで、 |
| 1:23:44 | 2ポツ目の部分、水位上昇側の津波評価では、安全評価上地震による地盤隆起は考慮せずに、人口の方は考慮して、評価をしたというふうに記載しています。で、 |

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 1:23:56 | 先ほど見ていただいた次のページの、加古川反対の記載をさせていただきます。実際には、南海トラフのプレート間地震と敷地との位置関係から、プレート間地震を評価するにあたっては、 |
| 1:24:09 | どういうケースをやっても敷地が隆起すると、その隆起量がどうかというようなところが違うというような形でございます。で、過去の地震でも、地盤を隆起しているという記録もありますので、その部分とも整合しているというふうに考えています。以上です。 |
| 1:24:25 | はい。何でか多分下降側はものすごくイメージがずっと入ってきたんですけど、所上昇側のところは一応字づら上、地盤隆起を考慮する地盤沈降は考慮して評価したと。いつ。 |
| 1:24:37 | なので実際に地盤で沈降しないっていう扱いなんですかね。 |
| 1:24:45 | はい。こちらのプレート間だけではなくて、津波評価全体で使えるようにちょっと記載させていただいている関係上、活断層なんかでは、 |
| 1:24:55 | 進行する場合もございますのでこのように開発させていただいています。 |
| 1:24:59 | わかりました。はい、イメージが恐れ入りました。ありがとうございます。 |
| 1:25:39 | 他は。 |
| 1:25:40 | そうです。 |
| 1:25:56 | あ、すみません向こう今、質問と資料に少し付け加えて欲しい点は一通り出揃ったかと思えますけども、これ大体資料を保存、本来補足資料、 |
| 1:26:10 | 直すとして、どのぐらいの期間かかりそうですかね。 |
| 1:26:19 | 中部電力天野でございます。数日で直せます。 |
| 1:26:24 | はい。 |
| 1:26:28 | 数日というと来週の。 |
| 1:26:32 | この辺りで、 |
| 1:26:34 | もう来週月曜日とかであれば当然ないほど直せます。 |
| 1:26:40 | ということですか。わかりましたわかりました。 |
| 1:27:22 | あ、すみませんそしたらですね資料の方修正できた段階で1回ご連絡ください。 |
| 1:27:29 | はい。持ち込みそうなめどが立ったときにですね。はい。 |
| 1:27:34 | そうすると日、 |
| 1:27:38 | なんでそこで、資料整えばですね、会合の方にご説明いただくような形になるかと思えますので、 |
| 1:27:46 | そしたら、では、ヒアリングの方はこれで、 |

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 1:27:51 | あと何かそちら側、中部電力さんの方から何か質問ありますでしょうか。 |
| 1:27:59 | はい。中部電力天野でございます。今鈴木さんからおっしゃられた通りに、例えば来週月曜ぐらいには、修正した資料を、 |
| 1:28:10 | 電子データでお出しするという形でよろしいですか。そこをご確認いただいて、審査用にまた印刷するというような形で、 |
| 1:28:21 | よろしければそのように対応させていただきます。 |
| 1:28:26 | そうですね、一応なんでもまず電子データでいただいて、おそらく、すべて反映されてるかなっていうのを、パパ確認してですね。 |
| 1:28:35 | このままではそれで会合に持ってくようだったら、またご連絡しますはい。 |
| 1:28:42 | 辺見嘉門で承知いたしました。 |
| 1:28:58 | はい。そうしたら今 11 時半、少し時間ありそうなのでもう |
| 1:29:06 | 点資料の方があ。 |
| 1:29:09 | 津波堆積物の宝庫チラーも今、できそうなので、 |
| 1:29:15 | これも資料としてはいただいているのかな。はい。 |
| 1:29:20 | 一応 C a 236 で、R00 ですかね、ちょっとこちらの方も、これ前回の会合での生成直近の会合での指摘踏まえて資料構成というか |
| 1:29:32 | 項目を見直してるかと思えますんで、ちょっとこれ簡単にご説明いただけますか。 |
| 1:29:39 | はい。中部でババのでございます。それでは先回 6 月 10 日の審査会合でご審議いただきました、歴史記録及び津波堆積物に関する調査、 |
| 1:29:51 | につきまして、審査での指摘事項を踏まえまして、修正して参りましたので、説明をさせていただきたいと思えます。説明 2 分ぐらいで終わります。よろしく願いいたします。 |
| 1:30:07 | 中部電力西村でございます。原子力発電所の歴史記録及び津波堆積物に関する調査について、6 月 10 日に実施いただきました。 |
| 1:30:16 | 第 1053 回審査会合での最終的な審査での指摘事項を踏まえて、 |
| 1:30:21 | 前回資料の 1.3. 二章詳細調査を参考情報に落とす構成変更を行い、 |
| 1:30:27 | イベント堆積物を津波堆積物と評価する方針に戻しましたので、 |
| 1:30:32 | 資料構成を中心にご説明いたします。 |
| 1:30:35 | 20 ページをお願いします。 |
| 1:30:45 | 目次のうち、1.3 章津波堆積物に関する現地調査の内容について、 |

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 1:30:51 | 前回審査会合資料では、1.3. 1 一章の基本調査、1.3. 二章の詳細調査、1.3. 3 章のまとめと小項目を立ててステップを踏んだ説明を行っていましたが、 |
| 1:31:04 | 6 月 10 日審査会合での議論の結果に基づき、 |
| 1:31:07 | 前回資料の 1.3. 一章基本調査の内容のみを 1.3 章と、 |
| 1:31:12 | する構成として、 |
| 1:31:14 | 合わせて 1.3 章の評価方針を従前の |
| 1:31:18 | 観察により評価したイベント堆積物を津波堆積物と評価するという方針に戻してございます。 |
| 1:31:25 | 具体的には 21 ページをお願いします。 |
| 1:31:30 | このページは前回、1.3. 一章基本調査の調査概要として示していた資料になります。 |
| 1:31:37 | 中段の 2、調査評価方法の一つ目の丸に、評価方針を示しております。 |
| 1:31:44 | ボーリング調査を実施し、採取した試料の観察により、提出堆積物及び古瀬砂層中の上下の地層と異なる想像の地層について、 |
| 1:31:53 | 津波堆積物に見られる特徴。 |
| 1:31:56 | 想像平面的な分布、供給元等を踏まえて、 |
| 1:32:00 | 津波起因の可能性が否定できない堆積物であるイベント堆積物を、津波堆積物と要望する方針に戻しております。 |
| 1:32:08 | これに伴い評価結果も元に戻しております、34 ページをお願いします。 |
| 1:32:18 | 右の表ですが、敷地の津波堆積物の堆積当時の標高は約 0 から 8 メートルとなっております。 |
| 1:32:26 | その他の該当ページも同様に評価結果を修正しております。 |
| 1:32:32 | また、評価方針の修正に伴い、前回資料の 1.3. 二章で示した詳細調査は、位置付けを参考として補足説明資料の 7 章に示してございます。 |
| 1:32:42 | 当社の説明は以上です。 |
| 1:32:50 | はい。 |
| 1:32:50 | ありがとうございます。 |
| 1:32:52 | 一応すいません。これ、前は 6 月とかコメント回答だったんですけど、 |
| 1:32:59 | これは今回 |
| 1:33:01 | 追加でボーリングしましたっていうコメント回答ではなくて一応これで、 |

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 1:33:06 | 津波堆積物に関する現地調査の、どの時点で調査をしてどの時点で追加調査を追加ボーリングしたのかは別にして、一応これで、 |
| 1:33:16 | クレーパ |
| 1:33:17 | g a g eという、 |
| 1:33:19 | そういう資料構成ですよ。 |
| 1:33:24 | 中部電力西村です。はい、おっしゃる通りでこちらがまとめ資料として今回作成した資料になります。 |
| 1:33:37 | はい。 |
| 1:33:37 | あります。ちょっと素朴な疑問でいうとその24ページ。 |
| 1:33:43 | これはボーリング地点普通の丸とボーリング地点追加というのは、 |
| 1:33:50 | これは前回の説明資料ですかね。 |
| 1:33:54 | これ何で前回でいうとコメントガイドなんで、追加っていう形になりますけど、 |
| 1:34:02 | ちょっと分けて書いた方がいいのか同じにってしまった方がいいのかっていうのはありますけど、 |
| 1:34:08 | これ一応今のところ、初めに調査したものと最後U p p e rのところを、 |
| 1:34:13 | 固めるために追加であったものは、一応わかるように分けて書いてます。 |
| 1:34:18 | 引き続きですね、そういう、 |
| 1:34:20 | うん。 |
| 1:34:22 | 資料上の資料構成という、それでいいですか。考えとしては、 |
| 1:34:28 | 中部電力、石村です。はい。今おっしゃっていただいた通りで |
| 1:34:33 | 用のボーリングチェーンと追加のボーリングチェーンと分けてございます。 |
| 1:34:38 | これ、 |
| 1:34:46 | なので多分その後ろ2の説明も、 |
| 1:34:50 | まず追加で掘る前の段階のもので考察をして、その上で追加でもやったけれども、確認がされなかったんでU p p e rを決めましたっていうそういう流れで説明していくなら、 |
| 1:35:02 | 一つ書き方としてはありかなと思いますけど、はい。 |
| 1:35:08 | これ何か確認点ある方いますか。規制庁のカイダです。 |
| 1:35:14 | 資料の確認さしていただいてちょっと確認なんですけれども。 |
| 1:35:20 | 他、 |
| 1:35:21 | 例えば、 |

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 1:35:26 | 29 ページとか、 |
| 1:35:29 | 30 ページとかで、敷地の中で、ボーリングの簡易柱状図が並んで、 |
| 1:35:36 | そこにちょっと年代値が入ってたりとか、 |
| 1:35:40 | イベント堆積物の |
| 1:35:42 | 場所とか、そういうのが示してある。 |
| 1:35:45 | かって上の方に考察が書いてあると。 |
| 1:35:47 | これ多分、前回の |
| 1:35:50 | 資料でいうと 1.3. 1 を意識して書かれている。 |
| 1:35:54 | そのままその部分が即そっくりそのまま来てるんだと思うんですが、 |
| 1:35:59 | 例えばこの、 |
| 1:36:03 | カーボンフォーティーンのこの年代測定結果とかは、 |
| 1:36:06 | 実はここだけでやったんじゃないくて、 |
| 1:36:10 | 実際もっといっぱいやってるわけなんですよ。それ目的は、 |
| 1:36:16 | 目的というか時系列的にこれともとやったやつがこれ、 |
| 1:36:20 | こうやっていたのがこれで、 |
| 1:36:22 | その後詳細検討という形でも追加して、 |
| 1:36:28 | やったやつもあるけれども、ただそういう時系列が違うっていうだけで、 |
| 1:36:33 | 同じような分析をして、 |
| 1:36:36 | 一部がここに入って、一部がこう抜けて抜いてあるっていうのは、 |
| 1:36:41 | この検討内容を、検討結果を切り分けるって話はわかるんですけど、データまでこう、 |
| 1:36:50 | なくなっちゃうっていうのは、その辺の位置付けっていうか関係っていうのはどうなってるのかちょっと確認したいんですが。 |
| 1:37:03 | はい。中部電力の久松です。 |
| 1:37:05 | 位置付けとしましては以前の 1.3. 2 章、前回の審査会合の資料に書いた通りでして、 |
| 1:37:15 | もともと年代調査につきましては、イベントが |
| 1:37:22 | 認定した後に、この認定した後といいますか、イベントの発生時期がどれぐらいかということで、1.3. 一章の方で |
| 1:37:33 | 分析をし、年代分析をしております。 |
| 1:37:36 | そのあとに、追加している年代評価っていうのは、 |
| 1:37:41 | 海起源イベント、海起源のイベント堆積物が連続するかどうかを評価するために、かなり |
| 1:37:51 | 間詰めて年代調査をしましたという位置付けになっておりますので、 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 1:37:59 | 前回の会合のときに、前回までと同じ評価方法で、 |
| 1:38:08 | 5人コア観察で評価した結果ということで、1.3. 一章の方で上限を決められるということでそういった位置付けにしましょうということで決まったと思っておりますので、 |
| 1:38:23 | 今回、 |
| 1:38:26 | 年代評価追加なくても、イベント堆積物の評価はできているという位置付けにしておりますので |
| 1:38:36 | 追加でやった分につきましては、補足説明資料7の方に載せていると。 |
| 1:38:42 | ということにしております。 |
| 1:38:45 | 以上です。 |
| 1:38:50 | はい。規制庁のカイダです。わかりましたどういった考えで今こういうふうにされてるかというところは、そこはわかったんですけども、 |
| 1:39:03 | 最終的な評価として、これひょっとするとまとめ資料的なような組み立てになってると思うので、 |
| 1:39:13 | 多分放射性炭素年代測定はここでやりましたっていうのがもうまず本編の一番説明したいところでもわかって、 |
| 1:39:23 | そのあと海起源のものとする、さらに詳細詰めていくかどうかっていうその考察は第二段階をやるかどうかは別として、 |
| 1:39:33 | 基礎データとして、まずここに図あるやったものはあるっていう方が、この |
| 1:39:41 | 誤解を招かないというか、その方が丁寧だしその方が |
| 1:39:47 | 資料としてわかりやすいと思うので、 |
| 1:39:51 | この辺りちょっと全部書いてある書けないとかそういうところもあるかもしれないんですが、 |
| 1:39:57 | なくても、説明できるっていうところもあると思うんですけどやったものはちゃんとこう示していくっていう形の方が、 |
| 1:40:06 | いいかなと思いましたがでちょっとそこ。 |
| 1:40:09 | 改めてちょっと検討いただきたいので、お願いします。 |
| 1:40:14 | それとあと、 |
| 1:40:15 | その32930ページで、 |
| 1:40:18 | これは |
| 1:40:20 | もう26ページでイベント堆積物の、 |
| 1:40:25 | もう滑り絞り込んであると。 |
| 1:40:27 | いうところはわか分かるんですけども、 |
| 1:40:31 | ちょっと2930だと、 |

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 1:40:34 | 結果は書いてあるんですけどのでわかりにくいので、 |
| 1:40:39 | やっぱり補足資料で例えば、 |
| 1:40:46 | この下に続く、 |
| 1:40:48 | 写真とかですね 70。 |
| 1:40:54 | 75 ページとか、 |
| 1:40:57 | あと、 |
| 1:40:58 | この辺り、写真が並んでるようなのが敷地内の方だけでいいんですけども、 |
| 1:41:04 | 75 ページの写真の並んでるやつとかあと、 |
| 1:41:10 | もう 8586 とかですか。 |
| 1:41:13 | この辺りビジュアル的にも、この辺りに、 |
| 1:41:18 | イベント堆積物があって、ここで終わってるんだっていうところが、 |
| 1:41:24 | ちょっとわかりやすいように、ちょっと資料、 |
| 1:41:27 | またこういったのも本編でもわかるようにしていただきたいんですね。 |
| 1:41:32 | で、前回の会合は置いといて前々回の会合では、 |
| 1:41:37 | 実際どこが上限なんだっていう、そのイベント堆積物として否定できない。 |
| 1:41:43 | 堆積物が、実際どこが上限なんだっていうところは、 |
| 1:41:47 | 示していただくっていうところが一番、 |
| 1:41:51 | 論点であって、 |
| 1:41:54 | そこがわかるような形で、 |
| 1:41:58 | 結論はこうなんでしょうけれども、補足に落とされたところで、 |
| 1:42:04 | ここが上限なんだっていうところを示す。 |
| 1:42:07 | ようなことがわかるようなところの、 |
| 1:42:10 | 大事なところは、本編に戻していただきたいなど。 |
| 1:42:14 | 思ってますけれども。 |
| 1:42:16 | その辺り資料構成の仕方として、夜、よろしいですか。 |
| 1:42:24 | 中部電力浜野でございます。ちょっと混乱をしておりますけど、 |
| 1:42:29 | 前回審査会合で 1.3. 二章、海起源の話を議論するということでは新たな論点になってしまうと、1.3. 一章で追加ポーリングをすることで上端を、 |
| 1:42:44 | 抑えたと、いうことであれば、審査としてはこれで了解をされたと、いうように理解をしてございます。 |

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 1:42:53 | ですので今カイダさんが言われたような、カーボン法廷に追加で入れたものっていうものはもともと 1.3. 一章には入れていないので今これから |
| 1:43:06 | 追加して入れると前回審査会合でご議論いただいたものと中身が変わってきてしまいますのでそれは、再度審査っていう形になってしまう。 |
| 1:43:18 | 恐れがあるのではないかと私たちは思うので、入れない方がいいんじゃないかと思っています。 |
| 1:43:26 | ペーパーは、 |
| 1:43:27 | あとは写真で 75 とかっていうのももともと、これも補足説明資料に入れてあったものですので、前回審査会合でも一緒にここも併せて、 |
| 1:43:38 | 当然審査いただいたと思ってます。ただこれをここに持ってくるっていうのがもともと入ってるものを持ってこられるだけの話なんでそこは、対応は可能かなと思うんですがちょっとカーボンフォーティーンを、 |
| 1:43:54 | 1.3. 二章の結果を持ってくるとちょっとできないなと思っております。 |
| 1:44:02 | 規制庁佐口ですけども、ちょっと我々が求めていることはあくまでも、敷地のイベント堆積物の上限は、 |
| 1:44:12 | ここまでなんですよというのが、まず一番、大きな最終結論としてあるんですけれども、 |
| 1:44:20 | ただそれを認定をするにあたって当然前回じゃなくて、前々回まで、当然御社はされてたことっていうのは、まず前提としてまず入れるべきじゃないかと。 |
| 1:44:32 | 例えば今の 21 ページなんてじゃあ、例えば先ほど久松さんだった山野さんのお答えだとですね、この 21 ページのこの調査評価方法の、二つ目の丸の試料分析なんてじゃこれ資料から要らないですよ。 |
| 1:44:46 | そういう話なんですかね。 |
| 1:44:49 | あくまでも、ここで 21 ページにあるように、年代測定何でやったんですかっていうと、 |
| 1:44:56 | 海とか陸を分けるっていうところが目的じゃなくてそれは逆に言うと、 |
| 1:45:02 | あくまでも前回の会合でそういう、 |
| 1:45:05 | 何か位置付けに変えちゃっただけであって、そもそもはこのイベント堆積物の年代って幾つぐらいのものなのかなっていうので、そういうことを特定する目的としてされている。 |
| 1:45:17 | であったはずなんですけどねこの前、前々回会合までは、 |
| 1:45:21 | ただ当然ながら、前々回会合で出していたものについては、もう漏れなく、時系列調査の時系列っていう形ではなくて、 |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 1:45:34 | あくまでも、津波堆積物調査としての、 |
| 1:45:38 | 一色という取りまとめの中では、 |
| 1:45:43 | 当然、前々回まで説明されていたものっていうのは入ってきて当然かな と思いますので、そういった、 |
| 1:45:51 | 意味も含めて今カイダからちょっとコメントだったと思うんですけど。 |
| 1:45:55 | いずれにしてもですね、海陸を開けるという話については当然我々、 |
| 1:46:01 | さらなる論点が、 |
| 1:46:03 | 当然出てくる話ですので、それは前回の会合で、そこまで必要ないよね っていう、お互いの |
| 1:46:12 | 共通認識に至ったと思いますので、それ以外についても、純粋な津波堆 積物調査に関わる、 |
| 1:46:21 | 調査だったり分析とかそういう結果については市采、 |
| 1:46:24 | 取りまとめて、ちゃんと資料化をしてくださいと。 |
| 1:46:28 | そういう趣旨なんですけど。 |
| 1:46:30 | よろしいですかね。 |
| 1:46:35 | はい。中部電力の盛です。遠慮ため確認させていただきたいんですけれ ども、今の本編の 21 ページ自体は、前々回から記載が変わってないも のでございます。で、 |
| 1:46:46 | 前回の審査会合では、補足の 153 ページ。 |
| 1:46:52 | なんかで、す。前回の 3. 一章と 3. 二章の詳細調査。 |
| 1:46:59 | と、調査評価の内容について、お示しさせていただきました。 |
| 1:47:08 | 153 ページです。 |
| 1:47:13 | こちら佐口さんから当日ご指摘いただいたページだったかと思いき けれども、左側の調査で追加ボーリングも含めて今 3. 一章、前回の 3 点シュートがパッケージ化されているのかということでその通りですと いうふうにお答えさせていただいてます。 |
| 1:47:29 | そのときは、基本的には津波堆積物、イベント堆積物の認定にあたって は、コア観察のみを実施しているというところで、 |
| 1:47:39 | 下の方に少し記載させていただいてますけれども、評価したイベント堆 積物の年代ってのは当然特定したいというところがございますので、放 射性炭素年代、その分析を実施しているというところです。 |
| 1:47:52 | で、今回さらに今回は前回の資料の算定二章の詳細調査でさらに放射性 炭素年代測定を顕微鏡カトウで試料採取して実施したというのが右側の 方で、 |

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 1:48:03 | こちらの目的についてはそのイベント堆積物の年代を特定するという ことではなくって、その周辺も含めて、いろいろ情報を取ってきて、連続 性をどうするかということで、 |
| 1:48:15 | 細かくとらせていただいたものです。その結果も前回お示ししていた だいた162ページなんかになりますけれども、連続性があるかないかと いうことで、 |
| 1:48:28 | 議論をさしていただきまして、この辺りの整理については、少し議論議 論に時間がかかるのではないかとということで、ご指摘いただいたもの というふうに認識してます。で、こういう |
| 1:48:41 | 基本情報として放射線等連絡で追加でも実施してますので、3.1種、前 の基本調査の方に入れ込むことはできるんですけども、 |
| 1:48:51 | ちょっとその連続性みたいところで情報を入れ込んだときに何か矛盾 が生じてしまうんじゃないかっていうところも少し危惧しているところ ではありますけれども、もちろん情報として単に載せて欲しいというこ とであれば、載せることはできるかなというふうには思っております。 |
| 1:49:07 | 以上です。 |
| 1:49:10 | はい。規制庁佐口ですけども、ちょっと我々としてはもうあれで終わり なんだけれどもとそれ以上やるつもりはなかったんですけど、 |
| 1:49:21 | いや逆に言うと、ちょっと今気になったのはモリモリさんの |
| 1:49:26 | ご発言で矛盾が生じるって話が出たんですけど、もう順が生じたらそれ って、 |
| 1:49:31 | やっぱり何かおかしくないですか、そこでちゃんと止まってると言え ないんじゃないですか。 |
| 1:49:38 | って思っちゃうんですね。いやそうじゃなくって、当然その、今まで調査 したところよりより高いところでボーリングをやって、同じような、 |
| 1:49:50 | 堆積層というかしシルト層、 |
| 1:49:52 | 人のものはあるんだけどその中にイベント堆積物はないんだよと、いう ことをもって、当然、我々もそうですけど、じゃあ大丈夫なんだよね って確認ができたというのが、 |
| 1:50:06 | この前の前回の会合ですので、何かそこで何か矛盾が生じるとかそう いう話が出て、出てくると。 |
| 1:50:13 | それって大丈夫なのって、それこそまた別の、 |
| 1:50:18 | 何か話になってしまうと思うので、いやそそうじゃなくって、我々が今 |
| 1:50:24 | 求めたのはあくまでも調査の基本データとして、きちんとそれは最終 的なその資料として取りまとめて、 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 1:50:34 | 出してくださいと。 |
| 1:50:35 | ということですのでそういう趣旨で申し上げてるんですけど、そこを、 |
| 1:50:39 | よろしいですかね。 |
| 1:50:44 | はい中部電力の盛です。データとして入れることはできますので、承知いたしました。すいませんちょっと矛盾というのが、矛盾というかですね、前回の詳細調査のところでは、 |
| 1:50:55 | 放射性さんと年代特性なんかを見ると、もっと前の方で止まっているんじゃないかと、いうことをお示しさせていただいている情報になりますので、基本的には整理の仕方かなというふうに思ってます。で、 |
| 1:51:07 | 3. 一章の基本調査の方では、同じ補足でいくと、20 ページに、 |
| 1:51:13 | 今本編の方にもある地質断面図が載って、 |
| 1:51:17 | おりますけれども、布施砂層の直下にある 0 層の中に、堆積物があるということで、大きな目で見れば、連続しているんじゃないかということで、 |
| 1:51:27 | イベント堆積物の平面的な分布として押さえさせていただいてます。ここに、大瀬さんと年代測定も、基本データとして、 |
| 1:51:36 | 入れ込むということが出来ますので、そのような対応をさせていただければ、 |
| 1:51:41 | いいのかなというふうに今思っております。以上です。 |
| 1:51:51 | 規制庁のカイダですけれども放射性炭素の方は |
| 1:51:55 | 今、何か |
| 1:51:58 | 工夫されているということでお話があったんですけども、 |
| 1:52:04 | ボーリング柱状図じゃなくて写真が並べて、 |
| 1:52:11 | すごく分かるようにしてあるのもこれも入れると、何か新たな論点思うので、 |
| 1:52:16 | 入れられないというお話だったんですけども、 |
| 1:52:19 | こっちの方もお腕いかがなんですかこれも |
| 1:52:23 | 例えば、本編の 29 ページだと、敷地 2021 で、これまた新しくやって、上限がちゃんと押さえられたという結果。 |
| 1:52:34 | みたいなものが、もう※1 で飛ばしてあって、そのあたりは、 |
| 1:52:44 | 補足の 75 ページとかでこう並んでのを見ると、この上の 29 ページの |
| 1:52:50 | 模式断面図と比べて非常にわかりやすくてええと、これで説明性が上がるというふうに考えてはいるんですけども、それも何か難しいというお話ですか先ほどちょっと |
| 1:53:06 | あとね確認なんですけれども、 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 1:53:12 | はい。中部電力久松です。こちらの方につきましてはもともと資料出しているものですので本編 29 ページの後に、こういう並べたな。 |
| 1:53:24 | 補足の 75 ページだとか、こういった見やすい写真を載せるということは、対応させていただきます。以上です。 |
| 1:53:34 | 規制庁の甲斐です。わかりましたこの辺りは使う方の論点というよりは説明性の観点からわかりやすいのはわかりやすいにさせていただけると、こちらも助かるのでよろしく申し上げます。 |
| 1:54:02 | 規制庁ニシキですけれども、私の方からはこれがまず本編のまとめ資料的なものになるという位置付けだと思うので、ちょっと資料の構成のところまで気になったところについてちょっと、 |
| 1:54:16 | 確認させていただきますけれども、1.3 の資料の構成としては、 |
| 1:54:21 | まず最初に、調査概要がきて、 |
| 1:54:25 | その次に、 |
| 1:54:28 | なんだっけ。 |
| 1:54:29 | 調査箇所選定。 |
| 1:54:32 | それでボーリング調査地点で観察分析手法評価結果で、個別の調査結果でイベント堆積物の有無というふうな感じになってるんですけども、 |
| 1:54:43 | この中で、 |
| 1:54:45 | 流れとして、 |
| 1:54:47 | 調査結果イベント堆積物の有無というところなんですけども、ML 対策あるかな、あるかないかっていうところをこの |
| 1:54:56 | 本店が示すところで、基本的にはこの敷地の西側と東側、菊川のみを出ていて、ない、ないですよという何かを佐川と新野がですか、そちらについては、 |
| 1:55:11 | 特にこの資料、本編側の方の資料に出てきてないんですけどもこれまとめなので、あるかなしやというところ言ってるのでなしっていうな、ないですよっていう絵をですね、 |
| 1:55:23 | 何か補足の中ではちゃんと出されているんで、例えば補足の 13 ページのところだと、 |
| 1:55:30 | 新野側の方がこれじゃないですよと示してあって、 |
| 1:55:33 | 55 ページの方で、 |
| 1:55:36 | 何ですか、大澤の方が書いてあるのでこの辺り、同じような奈良へ、並びでつけた方がマシ |

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 1:55:45 | 本編の方ではないんないのはこういうものですよという文言をきちんと示せるのかなというふうに思いましたが、そのあたりいかがでしょうか。 |
| 1:55:56 | はい、中部電力久松です。補足説明資料の方に載せておりますので、そちらを断面図を同じような、 |
| 1:56:06 | 菊川とかと同じような形ですね、断面図と、あとイベント堆積物が確認されないということで本編資料の方に付けさせていただきます。 |
| 1:56:20 | 以上です。 |
| 1:56:21 | 規制庁認識です。またよろしくお願ひいたします。 |
| 1:56:25 | Dとですねもうちょっと気になったのが先ほどの津波評価の方でもちょっとお話ししたんですけども、 |
| 1:56:33 | 基本そのイベント堆積物を津波堆積物としてみなすというところで、こう評価されてくるんだと思うんですけども、ちょっと資料上ど、 |
| 1:56:44 | これ |
| 1:56:45 | イベント堆積物津波堆積物と見直すというふうに宣言してる場所がちょっとよくわからなくなって、 |
| 1:56:53 | 取ってる気がして、 |
| 1:56:54 | 資料をずっと見ていくと、30ページぐらいまでは基本イベント堆積物の流れできているところで32ページで、 |
| 1:57:04 | この表のところで一部修正になってるんですけども、これまで確かイベント堆積物したのかな、それを、津波堆積物かっこいい品と対策を打つ形でここで何か津波堆積部と堆積物がどう、どう、同じもんようなもんですよというのが書かれている。 |
| 1:57:21 | ような感じがして34ページだと思う。 |
| 1:57:24 | 津波大好き物、敷地の津波対策についてはなってるんですがただ30の上の箱書きの三つ四角の三つ目のところだとまた確認したイベント堆積物はって書いてあってその次に、 |
| 1:57:38 | なお敷地の津波対策のツアーということでちょっとこの辺も何か用語がどっちなんだろうというのがちょっとあるのでちょっとその辺、どっか整理されてる場所があるのかないのか、ないんであればちょっとその辺整理されることはできますかっていうことを確認したいんですが。 |
| 1:57:54 | はい。中部電力西村です。まず最初のイベント堆積物を津波堆積物等、評価するという定義をしっかりしてるかというところで、 |
| 1:58:04 | まず21ページなんですが、 |

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 1:58:07 | まず冒頭でもご説明させていただきましたが2、中段の2、調査評価方法というところの一つ目のマル。 |
| 1:58:16 | 産業界でございますがその最後の三行目のす。 |
| 1:58:21 | ところに、 |
| 1:58:22 | 津波起因の可能性が否定できない堆積物で括弧でイベント堆積物を津波堆積物等を評価したというふうに、定義してございます。 |
| 1:58:31 | 同じように25ページにも |
| 1:58:35 | 一つ目のポチの3行目の最後。 |
| 1:58:37 | 3行目付近で同じ、同じようなことを書いてございますイベント堆積物を津波堆積物を評価するといったことを書いてございます。 |
| 1:58:45 | なのでそういった定義は2125ページに記載しております。て最後ちょっと、 |
| 1:58:51 | 29か30のどちらかでイベント堆積物の津波堆積物という言葉がどっちも出てくるのDというところは少し |
| 1:59:00 | 言葉が、 |
| 1:59:01 | きちんと何ですかね、整理できるように、エースいたします。 |
| 1:59:06 | 先生認識です。ありがとうございます今ちょっと本当最初は最初に書いてあったことをちょっと、 |
| 1:59:12 | 見てはいたけどあんまりそこを気にせずにスルーして、 |
| 1:59:16 | ちょっと見てましたのですみません、場所は確認できました。34ページの方はちょっと検討いただければと思います。 |
| 1:59:24 | 私の方から以上。 |
| 1:59:30 | 中部電力の森です。今の点ちょっと先ほどのプレート間地震の津波評価の方でも同じように記載してはいますので、もう少し記載した方がいいかというところを、 |
| 1:59:41 | 確認させていただきたいんですけども、先ほどのプレート間地震の津波評価の資料の225ページ、 |
| 1:59:49 | お願いします。 |
| 2:00:02 | 箱書きの頭のところで、現地調査においてはということと津波堆積物というふうに評価したイベント堆積物というふうに一応読み、読めるようになっておりますけどももう少しわかりやすくさせていただいた方が、 |
| 2:00:17 | いいのではないかとということによかったでしょうか。 |
| 2:00:20 | 規制庁認識です。そうですちょっと、捨ててる内容は、我々は理解はできるんですけども、この |

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 2:00:29 | してるんですけども、あの資料をぱっと見たときに、一瞬そう読めなくなれないかなという心配があるのでというところですので、はい。ちょっと工夫、1工夫いただければいいのかなというふうに思っております。 |
| 2:00:43 | はい。中部電力盛です。ありがとうございます。もう少し見えやすいように、そう記載を検討させていただきます。 |
| 2:01:25 | 規制庁佐口ですけども。 |
| 2:01:28 | ひょっとしたらもう気づかれてたかもしれないんですけども、今の点については、前回のその会合のときに私、 |
| 2:01:39 | 結構気を使ってですね、イベント堆積物、あと津波堆積物、あと海起源のイベント堆積物、多分 |
| 2:01:49 | かなり気を使ってとか使い分けてですね、コメントをさせていただきました。 |
| 2:01:54 | と思っているんですけど、なので、そのあたりちょっとですねこれは津波評価のところも含めて、御社がちゃんとこういう形で定義して、 |
| 2:02:07 | 最終的に津波堆積物っていうふうな形で整理をされるのであれば、 |
| 2:02:16 | 津波評価というところも含めてですねちょっと統一をしていただいて、そこがちょっとわかりやすくしていただければと思いますのでちょっとそこの辺りは少し整理をお願いします。 |
| 2:02:35 | はい。中部電力盛です。ありがとうございますちょっと至らない点もあるうかと思しますので検討させていただきます。 |
| 2:02:41 | 事実としては、イベント堆積物で評価として津波堆積物というような使い分けだと思ってますので、少しそこがきちんと整合統一されるように、検討させていただきます。 |
| 2:02:55 | よろしいですか。 |
| 2:02:57 | ちょっと完全なこのように書いた方がいいとかちょっと意味いう意味ではなくてイメージなんですけど例えば25ページのところって、 |
| 2:03:06 | なおイベント対応缶詰に評価した堆積物であって、他の理由も考えられますって、多分この書きぶりって従来その1.3. 2、 |
| 2:03:19 | あっち側に繋がっていくから、多分こういう書き方なんじゃないかなと思うんですけど。 |
| 2:03:25 | 素直に書くとどうなんですかね、イベント堆積物。 |
| 2:03:31 | イベント堆積物って言うてるものには当然、高潮や洪水や土石流や津波以外の要因のものも上がっているのだけれども、 |
| 2:03:40 | それはコア観察によって否定できないと。 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 2:03:43 | 評価したものを、 |
| 2:03:45 | 評価した体制強化米し、できないで評価した堆積物なので、従って今後これをこの津波堆積物と、 |
| 2:03:53 | 評価上は津波堆積物として扱いますとか、 |
| 2:03:55 | そういう説明なのかなあと思うんですけど、何か今のこう書きぶり、3.1、1.3、11.3、2に分けた時の1.3、1に書いた書きぶりなので、 |
| 2:04:07 | 次の章で、 |
| 2:04:08 | ノヨリ分けをきちんと科学的により分けをしようと思って書いた文章だから、 |
| 2:04:13 | ただ1.3、1の記載だけ残すと。 |
| 2:04:17 | どうもわかりにくいのかなという。 |
| 2:04:20 | そんな感じを受けたんですね。ちょっとあの公開たほうがやわらかい手がいいという高木アプリは、どういうロジックで定義づけてるかは、御社の考えだと思いますけど、 |
| 2:04:39 | 中部電力の久松です。ここのなお書きにつきましては、1.3で二章の詳細調査をする前から一応書いておりました、 |
| 2:04:49 | 保守的に |
| 2:04:53 | 評価をしておりますということで、一応なお書きというんで、これで何か評価を変えるわけではないのでなお書きに、 |
| 2:05:03 | 位置付けて記載していたものです。 |
| 2:05:08 | この辺りの評価、記載についてはこちらの方でもう一度改めて検討はさせていただきます。 |
| 2:05:16 | 以上です。 |
| 2:05:19 | 既設のナグラです。 |
| 2:05:22 | 私、すごく印象に残ってるのは今久松さんがおっしゃられたことで、 |
| 2:05:27 | 保守的になっていうことの意味合いをしっかりと説明することによって、 |
| 2:05:32 | 津波堆積物等、イベント堆積物と言ってるものの関係というかそういうものがちょっと清ちゃんと整理できるんじゃないかなと思うんですけど。 |
| 2:05:41 | こちら辺をちょっと言葉の定義も含めて、 |
| 2:05:44 | 少し、何ていうかな、わかりやすい説明の仕方をちょっと考えていただけますでしょうか何かなお書きではないような気がするんですけどね。 |
| 2:05:52 | そこのところはよろしくお願いします。 |
| 2:05:57 | はい。中部電力の久松です。承知しました。 |

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 2:06:06 | 規制庁佐口ですけども、ちょっと私の方から全体通して、資料のたてつけの話になるのかもしれないんですけど、 |
| 2:06:16 | というのを、ちょっと細かいところも含めて確認を2点ほどさしていただきたいんですけどまず1点目なんですけど、 |
| 2:06:25 | 本編の4ページで、 |
| 2:06:30 | 増し、これはあくまでも資料上の話かもしれないんですけど、 |
| 2:06:34 | 一番最後、一番下に津波評価結果との比較っていうことで、基準津波による津波高、 |
| 2:06:41 | いうことを、 |
| 2:06:43 | 書かれてるんですけど、これは、 |
| 2:06:46 | 資料上の話なのか、それとも、 |
| 2:06:50 | 基準津波って言ってるものが、 |
| 2:06:52 | 当初申請の基準津波なのか。 |
| 2:06:55 | 今後なのか、っていうのが実はよくわかりませんし、実際にじゃあ何やってるかっていうと、あくまでも参考という形で45ページで、比較はされてるんですけども、 |
| 2:07:07 | これ、内閣府の最大クラスモデルだったり、今痕跡再現モデルっていうものとやっても、これ完全にそごがあるので、 |
| 2:07:19 | なので4ページの一番、 |
| 2:07:21 | 下っていう位置付けがよくわからないのと、 |
| 2:07:24 | もしこれを、 |
| 2:07:26 | そもそもこの資料上要るのかどうかっていうのも当然ありますし、もしこれを残すんだったら、じゃあこの基準津波って言ってるものは何ものか。 |
| 2:07:37 | もし本当に、いや、これはあくまでも最終的に、要は、基準津波策定のとときにやるんだよと話であれば、何か今後そういうことをやります的な。 |
| 2:07:49 | ことを多分書かれた方がいいと思いますし、そうじゃないんだたらなんか、いっそのことなくても別に、あくまでもこれは、 |
| 2:07:58 | 歴史記録だったり津波堆積物に関する調査の資料なので、 |
| 2:08:03 | 何か特に必要もないのかなと思うんですけど、そこをちょっと、 |
| 2:08:07 | どうされるのかというのが、 |
| 2:08:10 | ちょっと考え方を教えてください。 |
| 2:08:15 | はい。中部電力の盛です。今後やるというつもりで |

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 2:08:19 | 他薦にしておりますので、少し表記についてもここをご説明させていただくということを追記してわかるように表示させていただきたいと思います。その関係で後ろの方はまだ基準津波が決まってない関係で3号という形で、 |
| 2:08:33 | 内閣との比較をさせていただいているというところですか。 |
| 2:08:37 | はい。以上です。 |
| 2:08:39 | はい。規制庁佐口ですわかりました今後やりますということであれば当然それは我々もそう認識してますので、きちんとそれがわかる形で、 |
| 2:08:50 | していただければと思いますんでごめんなさい、あとこの言葉じりをとらえるようで申し訳ないんですけど、ちょっと何か今後ということではせんというふうに言われると、上野河川もこれ今後やるのかっていう、ちょっとそこはもう、 |
| 2:09:05 | ちょっと違うかなと思います。 |
| 2:09:10 | はい。すいませんあまり気を使ってなくて申し訳ないです。はいすみませんいずれにしても今後やることで、 |
| 2:09:22 | すいませんちょっと電池が切れてしまいました今後やるってことは理解しましたのできちんとそれはわかるような形で、していただければと思うんですけど。あともう1点ですね、2点目なんですけど、 |
| 2:09:34 | すごいこれ細かい事で申し訳ない恐縮なんですけど43ページの、 |
| 2:09:41 | いわゆるこの調査結果を踏まえたというところで緑の○あると思うんですけど敷地っていうのは当然その前回会合から、その高さっていうか、あれが場所っていうか変わったんでわかるんですけど、 |
| 2:09:54 | この敷地以外のところでもありますね、よくよく見るとこれ前だか前々回、前々回かな、 |
| 2:10:01 | 前回、 |
| 2:10:03 | 微妙に変わってるんですよ、プロットの位置が。それで、 |
| 2:10:07 | これが今回のお示しいただいたものが正しいのか、前のおやつが正しいのか、多分なんかオーバーレイとかの関係で、ちょっとずれちゃったのかなっていうところはあるかもしれないけどそこを、 |
| 2:10:19 | どっちが正しいのかちょっと確認させてください。 |
| 2:10:24 | 中部電力の永松でございます。佐口さんのご認識の通り修正したのは敷地だけのつもりでちょっと重ね合わせの関係で若干ずれてしまってるのかなと思うんで適正化いたします。以上です。 |

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 2:10:39 | はい。佐口ですけどちなみに、ということは以前示されていたのが、正しくって今回はちょっと違う、オオイってそうそういう理解でいいです。 |
| 2:10:52 | 基本的にはそうだと思うんですけどその辺の事実関係も踏まえて正しいほうに合わせるという形で処理をさせていただければと思います。次回は正しいもので、提出いたします。 |
| 2:11:04 | はい。規制庁佐口ですわかりましたじゃよろしくお願いします。 |
| 2:11:28 | 他は、 |
| 2:11:29 | 他はよろしいですか。 |
| 2:11:38 | すいません成長鈴木ですけど一応念のための確認ですけど補足説明資料、結局、前回 1.3, 2 っていうところはこれ 7 番の 3 項、 |
| 2:11:49 | 敷地の詳細調査という形で、 |
| 2:11:52 | 最後高さの評価、考察の部分は除いて、やったことというのは、これはこの形で、補足説明資料の中で参考という形で、最終的に載せ残す。 |
| 2:12:06 | ていうお考えですかねこれ。 |
| 2:12:11 | はい。中部電力久松です。こちらで津波堆積物を評価するという位置付けではなくて調査した結果、データということで取りまとめて、 |
| 2:12:21 | おりますのでこちら、補足説明資料 7 の方に結果としては載せていこうかと思っております。 |
| 2:12:31 | はい。考えはわかりました。 |
| 2:12:35 | では、特に、 |
| 2:12:36 | なければ、 |
| 2:12:42 | そうですか。はい。 |
| 2:12:44 | そうしたら、ちょっと資料の方本編に本編の今回で言うところの 1.32 何を起こしてという、 |
| 2:12:54 | 移してというところは、本当ご準備いただいたり、間を考慮いただく時間があるかと思うんですけど、これは資料的に言うと、 |
| 2:13:03 | 作業というのはどのぐらいですかね。先ほど津波評価の方は、と別に同じタイミングでっていうつもりではないので、それぞれで準備できるタイミングでいいとは思うんですけど。 |
| 2:13:15 | そういった意味で一応これももう前回の 6 月 10 日の会合のときには、 |
| 2:13:20 | じゃあ残りの確認はっていうと一応どこかのタイミングで、 |
| 2:13:23 | 単品ではないかもしれませんが、 |
| 2:13:26 | 会合っていう、 |
| 2:13:28 | ところかと思うんですけど。 |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 2:13:35 | 木部中丸でございます。資料の修正自体は今、先ほどのプレート間地震の津波と同じぐらい例えば来週の月曜ぐらいに、 |
| 2:13:45 | お出しはできるかなと思っておりますが、 |
| 2:13:48 | 審査会合一緒じゃないならもう少し吟味させていただいた後でもいいかなというふうに考えてございます。 |
| 2:13:57 | はい。何でこのなさ、津波評価プレート間津波評価と別に同じタイミングありきということで考えたわけじゃないので、 |
| 2:14:07 | どのぐらいへの吟味する時間が必要であれば、またどのぐらいでっていうめどが立った段階でご連絡いただければと思いますので、はい。 |
| 2:14:17 | 御社の方からご質問何かございますでしょうか確認等。 |
| 2:14:23 | はい。先ほど申し上げた通り、今鈴木さんからおっしゃっていただいたので堆積物の方は、もう少し時間いただいて先ほどのちょっとイベント堆積物とかの定義なんかを、 |
| 2:14:35 | しっかり揉んだ上で、準備でき次第またご連絡申し上げたいと思います。 |
| 2:14:42 | はい。よろしく申し上げます。では他なければ、本日のヒアリングの方ちょっとすいません少し時間かかっちゃいますけれども、これで終了したいと思います。どうもありがとうございました。 |

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。